

パラグアイ共和国
アスンシオン市食品市場改善計画
技術協力専門家報告書

昭和 56 年 7 月

国際協力事業団

農 計 技

81-46

パラグアイ共和国
アスンシオン市食品市場改善計画
技術協力専門家報告書

JICA LIBRARY



1028869[4]

昭和 56 年 7 月

国際協力事業団

国際協力事業団	
受入 月日 58428123	708
登録No. 1013729	29.5 AET

序

本報告は開発途上地域における、農林業開発協力事業に対する支援の一環として調査を進めてきた、パラグアイ共和国の首都アスンシオン市食品市場改善計画についての技術協力に関する打合せチームの報告である。

今回の調査団は昭和56年3月25日から4月11日迄の18日間にわたり食品需給研究センター常務理事 多田 誠氏 を団長として国際協力事業団が派遣した。国際協力事業団はこの件に関し、昭和55年3月24日より約2週間にわたり、事前調査団を派遣して、アスンシオン市の食品市場の実態を踏査し、市場改善計画の詳細にわたり調査したさい、同国が日本政府に要請した事項を聴取している。この事前調査団の報告をもとにして、日本政府関係機関において検討協議し、協力可能な基本的構想を取纏め、今回の調査団にこの案を携行させて、アスンシオン市当局に説明し、技術協力の細部にわたり協議打合せを行なわせることとしたものである。

日本政府の技術協力がアスンシオン市食品市場改善計画に寄与し、パラグアイ共和国の食品流通改善に役立つことを願うものである。

ここにこの調査を実施するにあたり、多大な御協力をいただいた、パラグアイ共和国政府機関、アスンシオン市当局、在パラグアイ日本大使館、外務省、農林水産省の関係各位に対し深甚なる謝意を表わすものである。

昭和56年6月

国際協力事業団

理事 有 松 晃



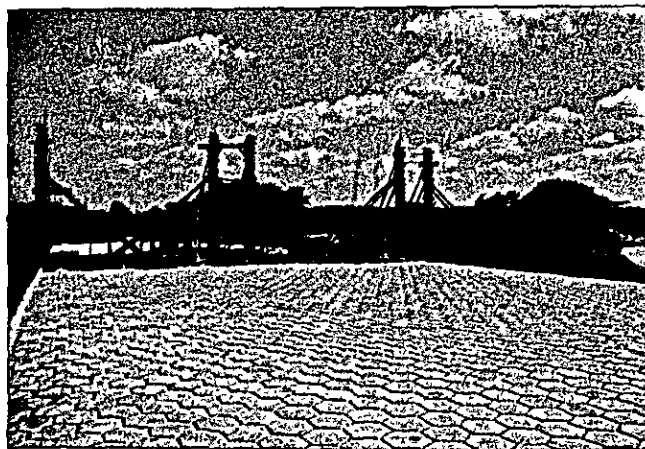
建設現場 1
中央卸売市場舎屋 正面



建設現場 2
中央卸売市場舎屋



建設現場 3
中央卸売市場 卸売場



建設現場 4
中央卸売市場 駐車場工事



現在の卸売商（大規模）の売場



現在の卸売商（中規模）の売場



現在の卸売商（小規模）の売場



現在の民営小売市場
小売商の店頭



現在の公設小売市場
小売商の店頭



現在の公設小売市場 入口



アスンシオン市長 Prorfirio Pereira 少将



市場管理局長
Miguel Antonio Lopez 技官

目 次

序

第1章 序 章	1
1. 調査の目的と課題	1
2. 調査団員の構成	1
3. 調査団の日程	2
4. 調査団の訪問先	5
5. 収集した資料	6
第2章 調 査 概 要	7
1. 日本政府が協力可能と考えている基本構想に対する反応	7
2. アスンシオン市当局が日本政府に期待している事項	7
3. アスンシオン市当局の受入体制について	10
4. 中央卸売市場の予算	10
5. 日本政府の技術協力に関する基本構想の妥当性	11
6. 基本構想の実施に必要な実態調査	12
7. 基本構想にもとづく技術協力の進め方についての打ち合せ事項	14
第3章 アスンシオン市中央卸売市場の進捗状況	15
1. 中央卸売市場舎屋の建築工程に関する実態調査	15
2. 中央卸売市場内外の交通路線	34
3. 中央卸売市場制度の確立	40
第4章 新流通システムの確立	47
1. 新流通システムの確立の必要性和可能性	47
2. 新流通システムの開発	49
3. 中央卸売市場開設に伴う関係業者の要望	50
4. 新流通システムの確立	53

第5章 中央卸売市場への移転と市場の運営予算	58
1. 中央卸売市場への移転計画	58
2. 中央卸売市場の建設と運営予算	59
第6章 日本政府の技術協力についてのアスンシオン市当局と調査団の意見交換	64
1. 技術協力の必要性	64
2. 日本政府の技術協力の基本構想に関するアスンシオン市当局と調査団との 意見交換	66
3. アスンシオン市食品市場改善計画推進に対する提言	70
付 属 書 類	
1. バラグアイ共和国アスンシオン市食品市場改善計画に対する日本政府との 協議覚書	79
(1) 日 本 語 文	
(2) スペイン語 文	
2. アスンシオン市中央卸売市場条例案	96
(1) 日 本 語 文	
(2) スペイン語 文	
3. アスンシオン市中央卸売市場施行規則案	106
(1) 日 本 語 文	
(2) スペイン語 文	
4. アスンシオン市中央卸売市場業務規程案	127
(1) 日 本 語 文	
(2) スペイン語 文	
5. 中央卸売市場受託販売約款案	152
(1) 日 本 語 文	
(2) スペイン語 文	
6. アスンシオン市当局が日本政府に要請する資機材	157
(1) スペイン語 文	
(2) 日 本 語 文	

7. アスンシオン市の諸法制 171

アスンシオン市当局においても3種の法制化を進め法令試案が作成されており、諸手続きを経て施行する運びとなっているが、日本側から示された法令案を参考にして検討してこの試案を補正して施行する旨を述べた、アスンシオン市当局の法令案はつぎのとおりである。

(1) スペイン語文

A. REGLAMENTO DEMERCADO

B. MINIMIZACION DE EFECTOS ADVERSO EN EL TRASLADO DE USUARIOS AL MERCADO DE ABASTO

C. RROYECTO DE PROTECCION

(2) 日本語文

A. 市場規則

B. 利用者の中央卸売市場の移転に伴う逆効用の減少

C. 保護の及ぶ範囲に関する計画

文中統計表

2-表1	中央卸売市場建物工事の進捗状況及び完工予定	13
2-表2	中央卸売市場における卸売商の配置予定	13
3-表3	中央卸売市場の規模及び利用概況	21
3-表4	中央卸売市場建設進捗状況表(1981年2月現在)	28
3-表5	中央卸売市場建設工事の今後の工事実行計画 (1981年2月18日から7月末日まで)	29
3-表6	中央卸売市場において必要な管理職員及び専門技術者数	33
3-表7	地区市場から中央卸売市場までの距離及び所要時間	36
3-表8	中央卸売市場内自動車駐車台数	37
3-表9	小売業者の仕入バス推定必要台数	38
3-表10	小売業者への配送車推定必要台数	38
5-表11	中央卸売市場経常収支予算計画	61
	(中央卸売市場特別会計投資勘定含む)	

5-表12	世銀借款等返済計画	62
5-表13	中央卸売市場資金計画	63
6-表14	アスンシオン市当局が技術協力として要請する機種	68
6-表15	アスンシオン市食品市場改善計画技術協力実施計画スケジュール(案).....	72
6-表16	アスンシオン市食品市場改善計画資機材に関する技術協力実施計画 スケジュール(案)	74

文中図表

3-図1	アスンシオン市位置図	16
3-図2	中央卸売市場位置図	18
3-図3	中央卸売市場配置図	20
3-図4(1-8)	中央卸売市場舎屋別工事工程図	23~28
3-図5	中央卸売市場管理組織組織図	32
3-図6	中央卸売市場・公設小売市場位置図	36
3-図7	中央卸売市場内搬出人交通動線図	39
3-図8	パラグアイ共和国行政組織図	43
3-図9	パラグアイ共和国農牧省組織図	45
4-図10	アスンシオン市における背果物流通経路図	48
4-図11	アスンシオン市中央卸売市場流通システム	51

第1章 序 章

1. 調査の目的と課題

(1) 目 的

この技術協力打合チームは1980年3月日本政府が派遣したコンタクトミッションに対するパラグアイ共和国アスンシオン市当局の日本政府への要請に対し、日本政府の検討結果につき、「日本政府の技術協力の基本構想」として取りまとめられた文章を携行し、アスンシオン市当局に対し、説明して日本政府の可能な技術協力につき打合せを行うことと基本構想の実施に必要な実態調査を行なうことが目的である。

(2) 課 題

1) 日本政府の協力可能と考えられる「基本構想」について意見交換を行い先方の反応を見る（打診）。

① アスンシオン市当局の日本政府に期待しているものと一致するか（ニーズの観点から）。

② アスンシオン市当局の受入体制は心配ないか。

③ 妥 当 性。

2) 基本構想の実施に必要な実態調査

a) 建物の建設計画

① 今後の進捗状況

② 今後の計画

b) 上記の建物の建設計画に併せた移転計画

① 移転計画の有・無

② 進捗状況（有の場合）

③ 内 容

2. 調査団員の構成

団長 総括及び流通 多 田 誠 社団法人 食品需給研究センター常務理事

団員 市 場 永 井 三 郎 元農林水産省食品流通局市場課中央卸売市場検査官

団員 経営分析 藤 田 康 雄 社団法人 全国生鮮食料品流通情報センター研究員

団員 業務調整 瀬 合 義 之 国際協力事業団移住海外事業部農牧課課長代理

3. 調査団の日程

月 日	時	訪 問 先 及 び 実 地 踏 査 地
3月26日(木)	10:30	調査団サンパウロ空港着 バンリホテル着 国際協力事業団 サンパウロ支部を訪問し、調査の打ち合せを行う。 セアザサンパウロ州立中央卸売市場の概要の説明を受ける。支部長 平尾文司
	16:00	セアザサンパウロ州立中央卸売市場の視察
3月27日(金)	9:00	コチア産業組合中央会事務所にて、セアザ中央卸売市場の運営機構、規模及びコチア産業組合の市場における役割についての概要の説明を受ける。 取締役補佐 オゼキコウノスケ
	16:00	総領事館訪問 領事 矢部 正行
3月28日(土)	11:00	訪問団 サンパウロ空港発
	13:00	調査団 アスンシオン空港着 アスンシオン市ロベス市場管理局長、チャパロ儀典長他多数の出迎えを受ける。
	14:00	プラザホテル着
	14:30	プラザホテルにてスケジュール等の打ち合せ JICA業務二課長 渡辺 武士 " 職員 鈴木 達男 農水省農業開発企画専門家 平田 四郎
3月29日(日)	9:00	調査団員内打ち合せ及び調査方法などを協議
3月30日(月)	8:00	アスンシオン市正庁にて市長ベンイラ少将表敬訪問
	9:00	農牧省メッサ技術官房局長表敬訪問
	10:00	大使館表的訪問 大 使 大鷹 正 参事官 内村 晋三 書記官 太田 健司

月 日	時	訪 問 先 及 び 実 地 踏 査 地
3月31日(火)	15:30	アスンシオン市庁にてロベス管理局長とスケジュール等の打ち合わせを行い、本件計画の概要について説明を受ける。
	19:30	大使主催夕食会列席
	8:00	ロベス管理局長の案内により「中央卸売市場」建設現場実態調査
	10:00	第2地区公設小売市場実態調査
	15:00	調査結果のとりまとめ、資料整理
4月 1日(水)	8:00	ロベス管理局長の案内により民営小売市場の視察及び卸売業者の調査
	9:00	1) 佐藤商店 Sr. Iwao ISHIDA
	10:00	2) 淵脇商事 co. Sr. Akira FVCHIWAKI
	11:00	3) Oriente Del Paraguay Ltd Sr. Yoshio GODA
	15:30	4) Bananas Climatizadas Sr. Lvis Pere
4月 2日(木)	16:30	5) Central Cooperativa Nacional Sr. Tuan Peralta Paredes
	8:30	アスンシオン市庁にてロベス管理局長、他の市側担当者 と日本側への本件要請内容及び調査団の技術協力構想に 関しての意見交換(1班 多田・瀬合)
	15:30	午前と同様
	8:00	第4地区公設小売市場及びその周辺の民営小売市場及び スーパーマーケットの実態調査
	16:00	第1, 第3, 第5, 第9地区公設小売市場の実態調査 (2班 永井・藤田)
	18:00	卸売業者グループインタビュー調査
		1) 佐藤商店
		2) 淵脇商事 co.
		3) Oriente Del Paraguaylta

月 日	時	訪 問 先 及 び 実 地 踏 査 地
4 月 3 日 (金)	8:00	アスンシオン市庁にて中央卸売市場に関する意見交換 ロベス管理局長と意見交換 (1 班 多田・瀬合) グィクトル施設担当官と意見交換 (2 班 永井・藤田)
	15:00	ロベス管理局長の案内により「中央卸売市場」建設現場 再調査
4 月 4 日 (土)	8:30	イグアス移住地野菜産地事情調査
	13:30	JICA 農業総合試験場を訪問。宮川試験場長よりイグ アス移住地の概要の説明を受ける。
	14:30	江口研究室長の案内によりイグアス移住地農家の農場実 態調査。久保田氏、飯島氏、岩崎氏より概況を聴く。
	17:30	JICA 農業総合試験場職員と懇談
4 月 5 日 (日)	午 前	現地 (野菜生産地) 研究会、農業総合試験場職員と調査 団員全員によるバラグアイ農業と野菜生産について検討
	14:00	アスンシオン市に向けて帰任
4 月 6 日 (月)	7:00	中間報告書とりまとめについて調査団員内打ち合せ
	8:00	ロベス管理局長と他の市側担当者と日本への本件要請内 容及び調査団の技術協力構想に関しての意見交換。
	13:00	ベレイラ市長主催昼食会列席
	16:00	技術協力に関してロベス管理局長、調査団との意見交換
4 月 7 日 (火)	8:00	調査結果のとりまとめ、中間報告書草案の作成
	19:30	調査団とアスンシオン市側担当者等と打ち合せ懇談会
4 月 8 日 (水)	8:00	アスンシオン市長、大使館、JICA 事務所にて調査結 果報告と帰国挨拶
	15:00	帰国の途に着く。

4. 調査団の訪問先

(1) JICA事務所（サンパウロ）

- 1) サンパウロ支部長 平尾 文司
- 2) " 総務課長 森下 朝充
- 3) " 職 員 佐々木弘一

(2) コチア産業組合中央会

- 1) 取締役補佐 Kosuke OZEKI

(3) 日本領事館

- 1) 矢部 正行 領事

(4) アスンシオン市庁

- 1) 市 長 Prorfirio Pereira 少将
- 2) 市場管理局長 Miguel Antonio Lopez 技官
- 3) 市場経理担当官 Alnulfo Alfonso Ortiz

(5) 農 牧 省

- 1) 官房技術局長 Oscar Meza Rojas 技官
- 2) 農業開発企画専門家 平田 四郎

(6) 日本大使館

- 1) 大鷹 正 大使
- 2) 内村 晋三 参事館
- 3) 太田 健司 書記官

(7) JICA事務所（アスンシオン）

- 1) アスンシオン支部長 永田 晃
- 2) 業務二課長 渡辺 武士
- 3) " 職員 鈴木 達男
- 4) " 職員 山本 謙治

(8) アスンシオン市内卸売業者

- 1) 佐藤商店 Sr. Iwao ISHIDA
- 2) 淵脇商事 co. Sr. Akira FUCHIWAKI
- 3) Oriente Del Paraguay Ltd Sr. Yoshio GODA
- 4) Bananas Climatizadas Sr. Luis Pere

5) Central Cooperativa Nacional Sr. Juan Peralta Paredes. .

(9) アスンシオン市内民営小売市場

1) ボナンザ Administrar Milaeadeo Olwedo Gower

2) アラゴン S.A 社長 Jose Magno Soler

(10) J I C A 農業総合試験場

1) 場 長 宮川 清忠 氏

2) 管理課長 湯川 俊介 氏

3) 研究室長 江口 義弘 氏

(11) イグアス移住地農家

1) 久保田洋史 氏

2) 飯島 昭郎 氏

3) 岩崎 竹雄 氏

5. 収集した資料

(1) Eecvesta Agropecuaria por Muestreo 1979 (Asuncion-Paraguay)

(2) Memoriary Balance 1980 (Central Cooperativa, Nacional)

(3) アスンシオン市街地図 (縮尺 1/40,000 , 1/25,000)

(4) 中央卸売市場建設工事日程表

(5) 中央卸売市場建設計画図

(6) 公設地区小売市場現状配置図

(7) 公設地区小売市場改造計画図

第2章 調査概要

1. 日本政府が協力可能と考えている基本構想に対する反応

- (1) 今回調査団が携行した基本構想は新設される中央卸売市場を中核とする流通システムを開発し、運営するための諸制度と新流通システムの運営についての商流・物流に対する技術協力のために専門家を長期に派遣することを考えており、中央卸売市場が建設の目的に即応した卸売機能を発揮するために必要とする資機材の可能な範囲での無償供与を行うものである（巻末の付属書類1を参照のこと）。このことにつき調査団はアスンシオン市当局者に対し、詳細に説明した。
- (2) アスンシオン市当局は全面的に援助が得られると期待していたが、日本政府が協力可能な範囲を限定されるようであるが、当局としては、中央卸売市場の完成とその機能の発揮のために努力をすると述べた。なお、アスンシオン市当局は地区市場（公設小売市場）の再建整備は、アスンシオン市としては、避けて通れない重要課題であり、アスンシオン市の財政負担において、順次再建するための計画を樹てることを考えていると述べた。

2. アスンシオン市当局が日本政府に期待している事項

(1) 長期専門家の派遣について

基本構想として示されている長期専門家の派遣についてはアスンシオン市当局は多大な期待を持って受け入れることを確約し、カウンターパートについては通常半日勤務者の多いパラグアイ共和国の勤務態勢にかかわらず、午前7時から午後3時までの勤務とし、要求に応じて人員を拡充することを回答した。

(2) 供与を要請する資機材について

- ① アスンシオン市当局はパラグアイ共和国の場合、生産者団体の組織化が進んでいない。そのため、本来生産者団体が行うべき生産出荷選別荷造りなどについても中央卸売市場の任務として、展示効果を考えた機材の供与を期待するほか、冷蔵施設等生産者団体の行うべき任務を含めて大型のものを整備してほしいとの要請を強調した。
- ② 中央卸売市場の開場と長期専門家による市場運営の技術協力と関連して市場運営に必要な資機材を供与することになろう。その場合のアスンシオン市当局の希望と要請する機種（巻末の付属書類6を参照のこと）及びその順位につき資料の提出を求めて調査団と共に検討した。その要請機種は次のとおりである。

パラグアイ共和国アスンシオン市の要請した資機材と職員の養成訓練

(1) 自動車関係車輛

① 中央卸売市場から公設小売市場への「配送用トラック」12～15トン	10	台
② 公設小売市場の小売人が中央卸売市場に仕入れに行くための「仕入専用バス」	6	台

(2) コミュニケーション関係

① 中央卸売市場 大型電気掲示板	1	台
② 中央卸売市場と公設小売市場流通用テレックス (又はテレファックス)	11	台
③ 市場管理室用マイクロコンピューター	2	台
④ 市場管理室用中型電子計算機	1	組
⑤ 場内放送施設(放送施設本体)付属用機器マイク・スピーカー等	1	組
付属用機器マイク・スピーカー等	10	組
⑥ 管理制御用有線テレビ施設本機	1	組
収録テレビ15カ所 中央制御装置配電板		

(3) 冷蔵施設等

① 大型冷蔵庫(バレイショ, 玉ねぎ, トマト等)	1,000 m^3	1カ所
② 停電時の対策としての自家発電機		1機
③ 小型冷蔵庫(リンゴ, ナシなど果実用)	100 m^3	5室
④ バナナ加工用ムロ	70 m^3	4室

(4) 選別洗篠機

① 動力式大型形状選果機(オレンジ, トマト用)	1	台
② 動力式大型重量選果機(トマトなど)	1	台
③ 動力パッケージ(ビニール包装用自動パック) オレンジ・リンゴ・ナシ・バナナなど果実用	3	台
トマト・ピーマン・キュウリなど野菜用	3	台
④ 動力式大型ワックス洗篠機	1	台
ネーブル・オレンジ用のもの大型ワックス処理機	1	台
⑤ 動力水洗機 バレイショ・玉ねぎ用のもの	3	台

- エンジン・マンジョカなど長根用のもの 1 台
- (5) 運搬用機器等（中央卸売市場設備）
- ① フォークリフト（300-500 Kg程度の積卸し） 4 台
- ② ベルトコンベア5連式 コロ付コンベアー 各 2 台
- ③ ゴミ処理用トラック（ゴミ収集用自動車） 2 台
- (6) 雑草除去用機器
- ① 草刈用トラクター・ヘーモア・ヘーレキなど一式 1 組
- 30馬力程度のもの
- (7) 公設小売市場設備
- ① 牛肉販売用ショーケース 62 台
- （公設小売市場モデル展示用として） （3～5台とすべきもの）
- ② 15 Kg程度のデジタル計量機 60 台
- （公設小売市場モデル展示用として5 Kgまでの小型のもの3～5台とすべきもの
- 〔重量×単価＝売渡価額〕が電気表示となるもので、日本で肉類販売に最も多く使用されているもの）
- (8) 資機材の導入順位
- ① 仕入用バス・配送用トラック
- ② 掲示板・マイクロコンピューター
- ③ 冷蔵庫など機械一切
- ④ フォークリフト・ベルトコンベアー・コロコンベアー
- ⑤ 選別機・場内放送施設
- ⑥ 中型電子計算機
- (9) アスンシオン市市場職員の養成訓練について
- アスンシオン市の市場職員はすべて新任であり、専門的知識を有していないので日本で養成訓練してほしいとの要望があり、これに対し協議の結果、日本側で持ち帰って検討することとなった。要請する職種は次のとおりである。
- ① 市場運営 4人程度 日本で2人3カ月養成 2回
- ② 機掛処理 4人程度 日本で2人3カ月養成 2回
- ③ 統計情報 2人程度 日本で2人6カ月養成 1回

3. アスンシオン市当局の受入体制について

アスンシオン市当局は日本政府の技術協力に対し、多大な期待をもっており、市長以下各部処において受入体制の準備を進めている。特に中央卸売市場の管理体制を確立し、職員数を平年度37名とする管理機構を確定しており、現在12名が発令済である。このほか地区市場に62名の職員を配しており、それぞれの部処の事務を担当している。日本側で要求した長期専門家のアシスタントとなるカウンターパートについても適任者を配置して毎日午前7時から午後3時までの執務体制を考えている。

この準備体制とアスンシオン市当局のこのプロジェクトにかかる熱意と期待はその活動状況をみて推察できる。この中央卸売市場、問題の重要性はパラグアイ政府の各省においても確認されている。

4. 中央卸売市場の予算

(1) 中央卸売市場の予算措置

アスンシオン市財政当局は中央卸売市場の建設を進めるための投資勘定と経常収支の年次別予算計画を確定し、その経理事務担当の責任部処をきめ、会計責任者を設置した。

調査団はこれらの予算措置について詳細な説明を受けた。中央卸売市場の予算計画の概要は、第5章の5-表11、5-表12、5-表13に示すとおりである。

- ① 経常収支予算計画
- ② 特別会計投資勘定
- ③ 資金計画
- ④ 借款等償還計画

(2) 経常予算編成の基礎

① 収入予算

経常収入は市場使用料のみで充当する計画であり、アスンシオン市財政負担は考慮されていない。使用料は主として卸売業者の卸売場の使用料収入を見込んでおり、1平方メートル当たり、1日20グラニーを予定しており、1カ月につき1平方メートル600グラニーであるから年間で7,200グラニーとなる。若干高額と考えられるがアスンシオン市の財政事情からみると止む得ないものとみられる。

現在でも卸売業者は借家で営業するものが多く、1平方メートル10～20グラニーを支払っており、その負担は若干増加するものとみられる。平年度の収入予算額を

67,262,400 グアラニーと見積っており、使用させる売場面積を9,342 平方メートルと見込んでいる。

② 支出予算

経常支出額を2,581 万5 千グアラニーと見込んでいるが、そのうち、人件費1345 万5 千グアラニー、光熱水道費936 万グアラニー、維持管理費300 万グアラニーとしている。中央卸売市場の職員数を37 人としているので年間1 人当たり人件費は凡そ36 万グアラニーとなる。(月給は3 万グアラニー、凡そ5 万円である。)

③ 経常収支剰余と借款の償還等

経常収支の差引額を4,100 万グアラニーを見込んでおり、この額から世銀借款等の償還資金年額1,500 ～2,000 万グアラニーが充当される。この償還は1996 年まで継続されることとなっている。この償還資金の支出で残額がある場合は、地区小売市場(公設小売市場)の改築に充当する考えである。

(3) 投資勘定

中央卸売市場建設に要する投資勘定は1980 年5,116 万グアラニー、1981 年2 億2,904 万グアラニー、1982 年353 万グアラニーを予定しており、総額で2 億8,373 万グアラニーが投資される計画である。このうち、中央卸売市場の舎屋建築費が1 億6,107 万グアラニーである。

(4) 資金計画

中央卸売市場建設に投資される2 億8,373 万グアラニー(日本円にして凡そ4 億8,280 万円)のうち、1 億5,152 万グアラニー(凡そ53.4%)を世銀借款で充当し、残りの1 億3,221 万グアラニーがアスンシオン市財政資金から支出される計画である。

5. 日本政府の技術協力に関する基本構想の妥当性

日本側で提示した基本構想については中央卸売市場の諸制度の制定をはじめ、長期専門家の受入、資機材の供与・市場職員の養成訓練など全般的におおむね妥当性があるが、考え方に若干の差異があるが、きわめて重要なことは日本で予期した以上に中央卸売市場の建設工事が進展しており、資機材の提供が遅れることである。このことについては日本政府において特段の配慮が必要のようである。若干の差異を摘録するとつぎのとおりである。

- (1) 中央卸売市場の役割と守備範囲について、日本側からみると、野菜・果実の生産出荷のための商品の調整・選別・格付・包装・荷造りなどは生産者及び生産者団体を指導して行

なわせるべきものであると考えていたが、パラグアイ共和国では、生産者及び生産者団体の未発達と無理解もあって、指導奨励と展示効果のために、これらの業務を中央卸売市場の任務としたい意向がきわめて強い。

- (2) 冷蔵設備（冷蔵庫及び保冷施設）についても生産者団体に出荷調整機能がなく、物価安定対策のうえからみて、大型の冷蔵室を主張し、温度差を設けて冷蔵するために、中型のもの何室かを設けたい意向であって、日本側の調査団の考えていたものより拡充する必要が力説された。この冷蔵設備が生産者及び消費者の利益となるとの意見である。
- (3) 資機材の設備において日本側は、価格安定対策と各地区市場（公設小売市場）の小売価格を平準化させるための流通情報機能として、「テレックス」を設備することを考えているが、この国の電信技術が未発達なため、専用電信線の敷設と使用料を要する事情があり、電話に取り付ける「テレファックス」に変更することが適切のようである。
- (4) 野菜果実の物流過程では、日本側では中央卸売市場から公設小売市場の小売人に配送する場合の「通い容器」を考慮していたが、パラグアイ共和国では生産者が中央卸売市場に出荷するさいの容器を「通い容器」として設備することを主張したのでこれは供与機材の考慮外として検討すべき事項と考えている。
- (5) 日本側の考えでは、新設される中央卸売市場の卸売機能を発揮することに力点があり、新流通システムは物流と商流の抜本改革になると考えているが、アスンシオン市当局の考えは、中央卸売市場と公設小売市場の一体的運営を考えており、資機材供与の面でも「仕入バス」と「配送用トラック」を強く要望している。

6. 基本構想の実施に必要な実態調査

(1) 中央卸売市場舎屋の建設工事の進捗状況

中央卸売市場の舎屋の建設は調査団が予想した以上に、急ピッチで進められている。アスンシオン市当局では、管理棟・正門・駐車場・構内道路舗装は市の投資で全て完工するが、卸売場・卸売業者の事務所・付属店舗については建物構造物のままとし、その内法工事は夫々業者の負担において実施したい考えのようである。各建物工事の進捗状況並びに完工予定は2-表1の通りである。

(2) 今後の計画

- ① 中央卸売市場の舎屋の建築工事はほとんど完成しているが、第1, 第2, 第3, 第4ブロックの内装工事と第2ブロックを2階建とし、2階に食堂などの付属商を収容する工事は

2-表1 中央卸売市場建物の進捗状況及び完工予定

建物施設 (ブロック名)	1981年4月3日 現在進捗状況	完工予定
卸売場の建物 1	70 %	7 月 末
2	70	7 月 末
3	70	7 月 末
4	70	7 月 末
5	20	—
6	30	—
管 理 棟	80	4 月 中
付 属 店 舗	—	—
正門・駐車場	10	7 月 末
構内道路		

註 一印は不明である。

構造組みができていないうえその内装工事を進めなければならない。

- ② 今後は塀及び門の完成を急ぐ必要があるほか、便所を設置し、舎屋間の通路を整備して荷物の入荷と、買出し荷物のための路面の舗装を完成する必要がある。
- ③ 卸売場の中央空間となっている荷物積卸場の敷石などの工事を完成する必要がある。
- ④ 給水塔を構築中であるが、完成とともに上水道の配管を完備し、給水可能な状態に完工させる。
- ⑤ 電気系統の配線工事は未着手であり、引込線の工事も未着手である。この配線を完備してから利用できるまでの付帯工事一切が残されているのでこれを完成させる。
- ⑥ 駐車場の敷石の亀甲ブロックは搬入済であるが、この張付工事を進める必要がある。
- ⑦ 塀及び門の完成と関連させて周囲の垣根工事を建設するなど小詰の工事を進める計画である。

(3) 建物の建設計画に併せた移転計画

① 市場管理棟の移転計画

アスンシオン市当局では、管理棟が4月中に完成し、直ちに管理部門の一部は移転し、その他建物の建設を促進し7月末日までに全て完工させる計画である。当局の現在の計画では1ヵ月程度の猶予をみて入場する各業者にその内装を進めさせることにより、8月15日の市制施行記念日に開場したい意向の模様である。(この計画通りに建設が進

2-表2 中央卸売市場における卸売商の配置予定

建物施設別	取扱品目別 業 者 別	業 者 数
第1 } ブロック 第4 }	野菜, 果実	業者 72
第2ブロック	鶏卵, 肉	6
	チーズ等	—
	食 堂	1
第3ブロック	卸売業者事務所	—
	穀 類	54
	芋 類	—
	その他希望業者	—

註 一印は1981年4月現在不明であることを示す。

むかどうかは問題があるが、市当局では1カ月位は遅れることはあり得るので開場は何月何日になるかまだ確定できない状況である。)

② 卸売業者の移転計画

アスンシオン市当局は、7月末に建物及び道路等を全て完成し、直ちに卸売業者に割り当てた卸売場の内装を行わせ、入場準備を行い8月中に開場の計画である。このため、アスンシオン市当局は既に卸売業者に対し1～2回の説明を行っている。大手卸売業者は移転入場を了承しており、中小業者は移転入場を止むなく了承している模様である。また、小売業者は市場建設に対して仕入れに不便になることから反対の意向を持っているもののアスンシオン市の市場建設を止むを得ないものと考えている模様である。

③ 卸売場の配置計画

アスンシオン市当局は各卸売業者と数回の打ち合わせを行っており、実態把握と業者の希望を考慮して配置計画(場所と面積)を作成して大半の卸売業者は決定している。すなわち2-表2のとおりである。

7. 基本構想にもとづく技術協力の進め方についての打合せ事項

日本側では今回の技術協力打合チームの任務が終了するとともに、基本構想にもとづく技術協力の実施協議のためのミッションが派遣されるであろう。このミッションの実施協議にもとづき長期専門家が派遣される予定である。

長期専門家の着任とともに、中央卸売市場の運営に必要な資機材を順次導入することとなるものと考えているので、パラグアイ側において、その日程と手順により、このプロジェクトの完遂に努力されることを望むものであるが、日本で想定していた以上に、中央卸売市場の建築が急速に進んでいることから、日本で提供する資機材の供与の時期が市場の開場に間に合わない状況にあるので実施協議にあたり、充分協議する必要がある。

第3章 アスンシオン市中央卸売市場の進捗状況

1. 中央卸売市場舎屋の建築工程に関する実態調査

(1) アスンシオン市当局の中央卸売市場建設の基本構想

アスンシオン市当局では、市民生活の基本対策として食品供給の円滑化と都市交通の近代化及び衛生状態の改善などの総合的な視点から中央卸売市場を新設し、卸売機能を集中し、地区公設小売市場を再編整備する方針である。

アスンシオン市は、パラグアイ共和国の首都であり、パラグアイとアルゼンチンの国境を流れるパラグアイ河の東岸にある（3-図1）。中央卸売市場は、パラグアイ国東部地域からアスンシオン市中央の都市部に通ずる国道に面した交通の要地に立地し（3-図2）その舎屋は、1981年4月現在建設中である。中央卸売市場の立地する周辺地域は現在のところ民家は少なく主として農用地及び森林地である。

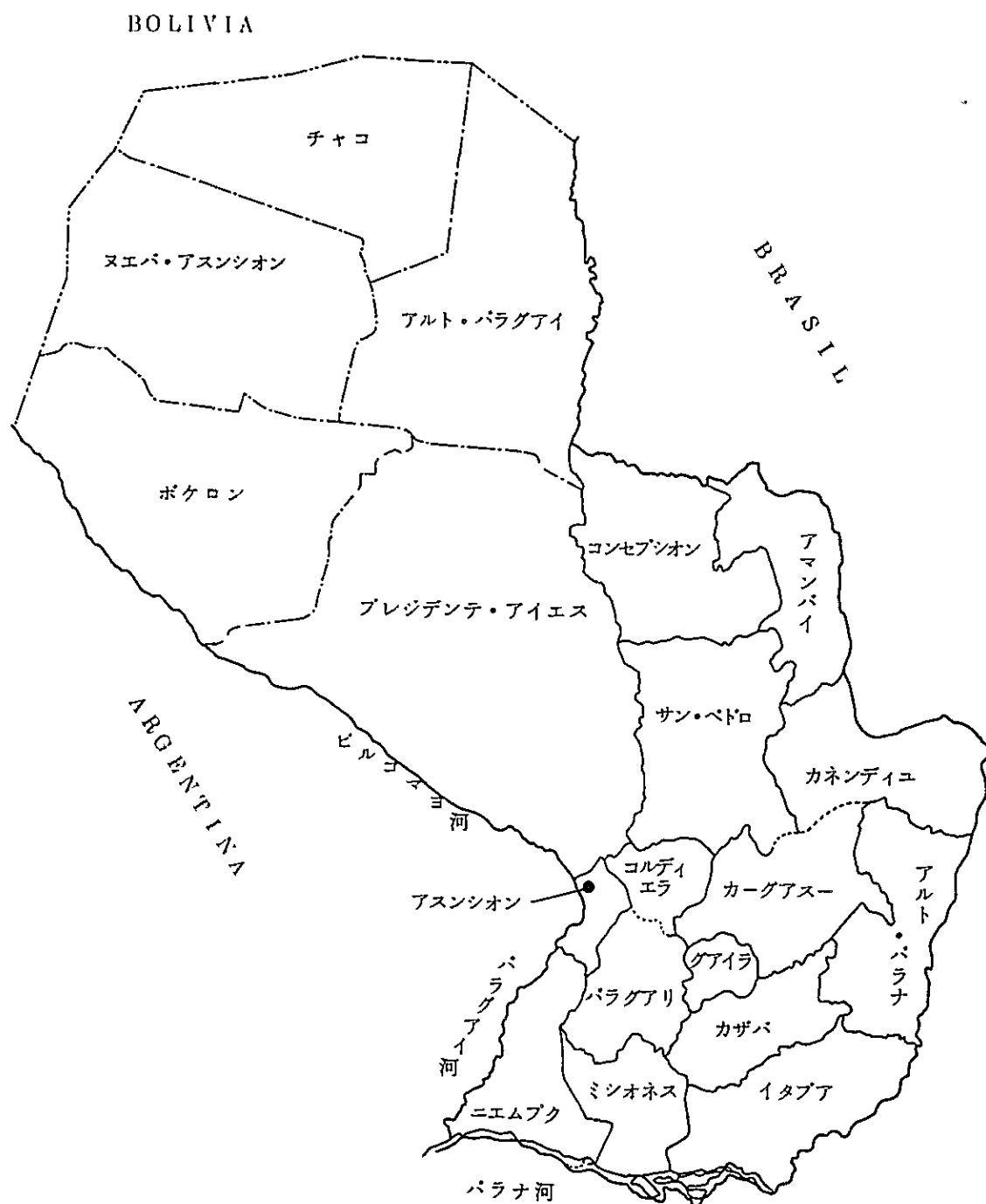
中央卸売市場での取扱品目としては野菜類・果実類・豆類・穀類などを予定しており現在のところ肉類・水産物類は取扱いの対象から除かれている。野菜類としては、葉茎菜類では、キャベツ・はくさい・ねぎなど、果菜類では、きゅうり・トマト・ピーマンなど、果瓜類ではメロン・すいか、土物類ではマンジョカ・ばれいしょ・タマネギなどである。果実類としてはオレンジ（ダンタリーナ・ナランハ・ネーブル）・パパイア・パイナップル・バナナ・ブドウ・リンゴなどである。豆類では大豆・そら豆、穀類では小麦などである。中央卸売市場におけるこれらの青果物の1日当り取扱量は約700トンと想定している。

中央卸売市場の青果物供給圏は、アスンシオン市と周辺都市を対象としており、供給総人口はアスンシオン市の人口50万人と周辺都市の人口凡そ20万人を含め約70万人と想定している。

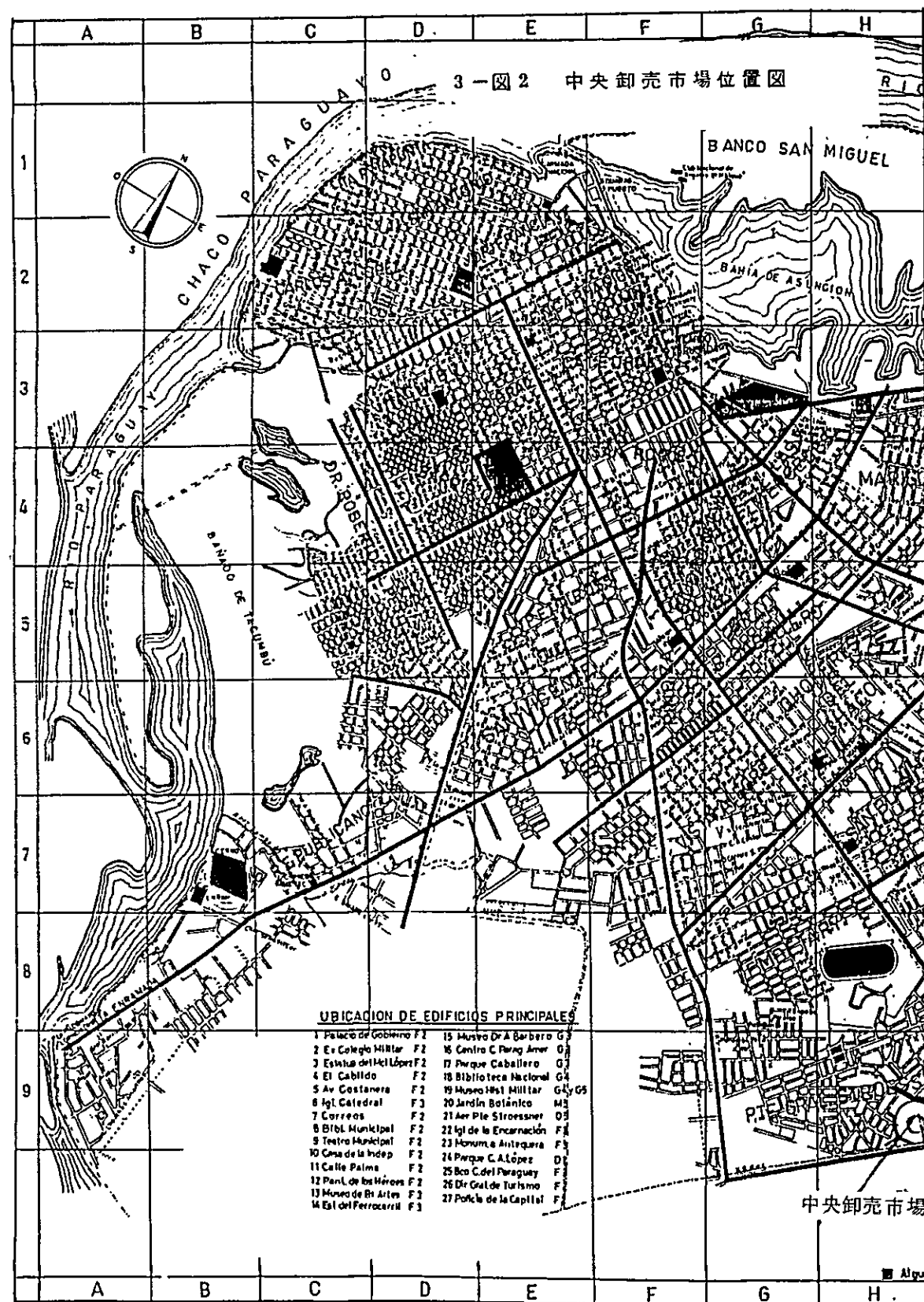
アスンシオン市当局は、第4地区市場の周辺に立地している卸売業者197業者を中央卸売市場に収容し、自由競争により青果物供給の確保と、商品価格の安定を図りたい意向である。卸売業者の収容に当たり業者の合併等は困難であるとみ当面は全員収容することにし卸売業者の使用面積は、野菜・果物ごとの実績取扱量に応じてアスンシオン市当局が配分することになっている。

中央卸売市場の建物としては卸売業者売場・冷蔵庫・加工選別場・付属業者店舗・卸売業者事務所などにより構成される舎屋6棟と、管理事務所棟・銀行などの関連業者棟を建

設する計画である（3-図3）。市場用地規模は約110,000 m^2 であり、舎屋の建物建設面積は約22,000 m^2 である（3-表3）。中央卸売市場の舎屋建設資金はアスンシオン市自主財源と世銀借款による資金によるものである。



3-図1. アスンシオン市位置図



3. 中央卸売市場舎屋配置図

3-表3 中央卸売市場の規模及び利用状況

(単位: m^2)

	規 模	利 用 内 容	利 用 業 者
用 地 規 模	110,000		
卸 売 場	22,000		
ブロック 1	8,600	1区画42 m^2 48業者分割	野菜・果実大中規模卸売業者 72業者
ブロック 中央		1区画152 m^2 24業者分割	
ブロック 4			
ブロック 2	2,200 (1,000)	1階 卸売場・付属店舗 2階 食堂・卸売業者事務所	鶏卵・肉加工品・チーズなど の卸売業者 6業者 食 堂 1業者
ブロック 3	4,500		穀類・芋類卸売業者 54業者 野菜・果実小規模卸売業者
ブロック 5	2,200	冷蔵庫, パナナ加工室 選別包装機械設備	
ブロック 6	4,500		
管 理 事 務 所	200		
銀行など事務所	100		
駐 車 場	20,000		

注1. 規模は敷地面積を示す。規模欄()内数字, 2階面積である。

2. 卸売場舎屋ブロック5, ブロック6は, 資金不足のため建設途中で中止となっている。

(2) 世銀借款

アスンシオン市は中央卸売市場の建設に当たり, 同市の自主財源をもとに1972年建設工事に着手したが進行途中で資金不足となり, 1975年に工事を中断するに至った。この対策としてパラグアイ共和国政府の世銀借款により実施するプロジェクト(中小農家への融資・農業センサスの実施)の1事項に含めることとし, 1979年2月借款の契約が成立している。

パラグアイ共和国政府の世銀借款の総額は2,500万米ドルであるが, このうち世銀借款で予定されている中央卸売市場舎屋建設資金の融資額は105万7000米ドルである。この中央卸売市場舎屋建設に当っては世銀借款以外に諸外国またはいかなる国際協力機関の協力も受けておらず不足分はアスンシオン市財政資金で賄なわれている。

世銀借款は据置き期間3年・償還期間12年の約定であり, 利率は7.5%ときめられており, またその償還方法は元金均等償還であって年次別にみると初期の年次は利息分が多く後年次では利子分が暫減する。

アスンシオン市当局の財政としては世銀借款の利息及び元金の返済金はすべて市場使用料の収入を原資として充当する計画である。

(3) 倉庫建設の進行状況と完成時期の見通し

中央卸売市場の建設工事は急速に進展しており、アスンシオン市当局における完成目標は1981年7月末遅れても8月末に完成する予定であり、倉庫別工事計画は3-図4(1~8)のとおりである。建設工事の進捗状況は、アスンシオン市1981年2月18日調査結果によると3-表4、3-表5に示すとおりである。

卸売場・卸売業者事務所・付属店舗などの倉庫、管理棟・正門・駐車場・構内道路舗装はアスンシオン市の財政負担で完工するが卸売のための売場の内装は使用する卸売業者の負担で整備する予定である。1981年3月末日の調査団の調査結果によると倉庫はレンガブロック・コンクリート敷で構造組が完成している。ブロック1、ブロック4はほぼ完成しておりブロック2、ブロック3は床面のコンクリート張りを残すのみとなっている。構造物としては現在給水塔を建設中であり、便所と付属商としての食堂(ブロック2 2階)の工事はできていないが、管理棟及び銀行等の関連業者建物はほぼ完成している。卸売市場の前面に予定されている駐車場敷地の丘状部分の土は取り除かれ均平化されており、工事は亀甲形敷石を敷詰はじめている。給排水配管は完備しているが電気系統の配線は未着手の状態である。

今後の建設スケジュールとしては、ブロック1・ブロック2・ブロック3・ブロック4の内装、食堂など付属商を収容する2階建の建造・内装・便所・塀及び門を完成したうえで倉庫ブロック間の通路の整備と卸売市場の中央空間(荷物積卸場)の敷石などのほか周辺の整備など小詰め工事を進めることになっている。

工事は急ピッチで進められており、1981年3月末現在の状況ではほぼ計画通り進んでいる。現在の進行速度で工事が進むとすれば、1981年8月末にはほぼ大半の建築物の建設は終るものと考えられる。しかし、卸売業務を開始するためには、内装工事が必要であり、なお1カ月程度の期間が必要であろうと考えられる。したがって、卸売市場の営業が開始できる状態となるのは1981年9月末頃と推察される。

(4) 給排水施設の設計と利用上の適否の検討

給排水施設は、給水施設と污水配管・雨水配管などの排水施設とに分け設計されている。給水施設のうち上水道は給水塔から各卸売場内に供給される。芝生などへの散布の水道は給水塔を通さず直接配管となっている。芝生などへの散布の水道は消火栓の役割を果たすように設計されている。青果物の洗じよう、卸売場内の洗じようなどに卸売市場内で使用された污水は污水配管により中央卸売市場外に放出される設計となっている。浄化槽などを

3 - 図 4 - (1) 中央卸売市場舎屋別工事工程図

CRONOGRAMA GENERAL

	1er. Mes	2º Mes	3er. Mes	4º Mes	5º Mes	6º Mes	7º Mes	8º Mes	9º Mes	10º Mes
BLOQUE 1										
BLOQUE 4										
BLOQUE CENTRAL										
BLOQUE 2										
BLOQUE 3										
BLOQUE 5										
PORTAL ENTRADA										
BLOQUE ADMINISTRATIVO										
TANQUES										
EDIFICIO MULTIUSO										
PORTALES AREAS VERDE Y CERCOS PERIMETRAL										

3 - 図 4 - (2)

CRONOGRAMA DE OBRAS - BLOQUE 1

ACTIVIDADES	1er. Mes	2do. Mes	3er. Mes	4º Mes	5º Mes	6º Mes	7º Mes	8º Mes	9º Mes	10º Mes
1. Demolición y Limpieza										
2. Rellenos y compactac.										
3. Cimiento										
4. Mampost. nivelación										
5. Mampost. elevación										
6. Techo										
7. Estructura de Hº Aº										
8. Contrapiso										
9. Aisl. Losa Hº Aº										
10. Revoque										
11. Revestim. azulejos										
12. Carpint. de maderas										
13. Pisos										
14. Carpint. metálica										
15. Pintura										
16. Artef. baños										
17. Inst. eléctrica										
18. Inst. cloacal										
19. Inst. pluvial										
20. Inst. agua cte.										
21. Piso de Hº										

3 - [X] 4 - (3)

CRONOGRAMA DE OBRAS - BLOQUE 4

ACTIVIDADES	1er.Mes	2do.Mes	3er.Mes	4to.Mes	5to.Mes	6to.Mes	7mo.Mes	8vo.Mes	9no.Mes	10mo.Mes
1. Demolición y Limpieza	■									
2. Rellenos compactados			■	■						
3. Cimientos	■	■								
4. Mampost. nivelación		■	■							
5. Mampost. elevación				■	■	■				
6. Techos Arcos				■	■	■	■			
7. Estructuras de Hº Aº		■	■	■						
8. Aislación de losa				■	■	■				
9. Contrapiso de cascote					■	■	■			
10. Revoques						■	■	■		
11. Revestim. azulejos								■	■	
12. Pisos							■	■	■	
13. Carpint. de madera					■	■			■	■
14. Carpint. metálica					■	■			■	■
15. Pinturas								■	■	■
16. Artefactos baños									■	■
17. Instalac. eléctrica					■	■		■	■	■
18. Instalac. cloacal			■	■	■			■	■	■
19. Instalac. pluvial								■	■	■
20. Instalac. agua cte.				■	■	■				■

3 - [X] 4 - (4)

CRONOGRAMA DE OBRAS - BLOQUE CENTRAL

ACTIVIDADES	1er.Mes	2º Mes	3er.Mes	4º Mes	5º Mes	6º Mes	7º Mes	8º Mes	9º Mes	10º Mes
1. Limpieza y Nivelación	■									
2. Relleno		■	■	■						
3. Cimiento	■	■								
4. Mampost. nivelación		■	■							
5. Mampost. elevación			■	■						
6. Estructura de Hº Aº		■	■							
7. Tocho				■	■	■				
8. Revoque					■	■	■			
9. Piso							■	■		
10. Carpint. madera			■		■	■				
11. Carpint. metálica				■	■	■	■	■		
12. Pinturas								■	■	■
13. Inst. eléctrica			■	■				■	■	■
14. Inst. cloacal		■	■		■	■		■	■	■
15. Inst. pluvial		■	■		■			■	■	■
16. Inst. agua cte.		■	■				■	■	■	

3 - 4 - (5)

CRONOGRAMA DE OBRAS - BLOQUE 2

ACTIVIDADES	1er.Mes	2do.Mes	3er.Mes	4to.Mes	5to.Mes	6to.Mes	7mo.Mes	8vo.Mes	9no.Mes	10º Mes
1. Demolición	■	■								
2. Relleno			■	■						
3. Cimiento	■	■								
4. Nivelación		■								
5. Mampost. elevación		■	■							
6. Revoque			■	■						
7. Revestido				■	■	■				
8. Contrapiso			■	■	■					
9. Piso				■	■	■				
10. Carpint. de madera				■	■	■	■			
11. Pintura					■	■	■	■		
12. Artef. baños				■	■	■	■			
13. Inst. eléctrica		■	■				■	■		
14. Inst. cloacal				■	■	■	■			
15. Inst. pluvial			■	■	■	■	■			
16. Inst. agua cte.				■	■	■	■			

3 - 4 - (6)

CRONOGRAMA DE OBRAS - BLOQUE 3

ACTIVIDADES	1er.Mes	2º Mes	3er.Mes	4º Mes	5º Mes	6º Mes	7º Mes	8º Mes	9º Mes	10º Mes
1. Relleno		■	■	■						
2. Cimiento	■									
3. Nivelación		■								
4. Mampost elevación		■								
5. Contrapiso			■	■						
6. Revoque			■	■						
7. Piso				■	■	■	■			
8. Carpint. de madera							■	■		
9. Carpint. metálica							■	■	■	
10. Pinturas							■	■	■	
11. Artef. baño							■	■	■	
12. Inst. eléctrica		■		■	■	■	■	■		
13. Inst. cloacal				■	■	■	■	■	■	
14. Inst. pluvial				■	■	■	■	■		
15. Inst. agua cte.		■		■	■	■	■			

OBRA MERCADO DE ABASTO
CUADRO DE AVANCE DE OBRAS

	1a SEMANA					2a SEMANA					3a SEMANA					4ta. SEMANA					5a. SEMANA									
	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S
	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	19	20	21	22	23	24	26	27			
<u>BLOQUE 1</u>																														
1) Excavación p/cimiento																														
2) Carga para cimiento																														
3) Mamp. ladrillos bam.																														
4) Tendido de pared para inst. electrica																														
5) Inst. agua corriente																														
6) Inst. cloacal																														
7) Revoque paredes																														
8) Revoque cielo raso																														
9) Mamp. de nivelac.																														
10) Mamp. de elevación a 30 P.A. y P.B.																														
11) Mamp. de elevación 0.15																														
12) Demolición de paredes																														
13) Esqueleto y armado de tierra																														
14) Colocación arcillosas bajas																														
15) Colocación balcones																														
16) Colocación de piso P.A.																														
17) Limpieza de cascos																														
18) Instalación baño																														
19) Preparación de plataforma																														
20) Colocación de Marcos																														
<u>BLOQUE ADMINISTRATIVO</u>																														
1) Colocación arcos y seniles																														
2) Colocación marcos																														
3) Revoque de paredes																														
<u>BLOQUE 2</u>																														
1) Demolición paredes																														
2) Excavación cimiento																														
3) Prepar. enlucido																														
4) Mampost. nivelación																														
Días de lluvia 7,220																														
<u>BLOQUE 4</u>																														
1) Excavación para cimiento																														
2) Carga para cimiento																														
3) Mamp. de ladrillos bam.																														
4) Tendido de pared para inst. electrica																														
5) Inst. agua corriente																														
6) Inst. cloacal																														
7) Revoque de paredes																														

3 - 図 4 - (8)

	1a. SEMANA					2a. SEMANA					3a. SEMANA					4ta. SEMANA					5a. SEMANA									
	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S	L	M	M	J	V	S
	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
8) Mamp. 0.30 laminado																														
9) Compactacion de relleno																														
10) Hormigon armado																														
Cola armadura																														
Descose losa P.A.																														
11) Coloc. de arcos met. J (techo) chapas																														
12) Aislación de losa																														
13) Capa aislado vertical																														
<u>BLOQUE CENTRAL</u>																														
1) Hormigon armado																														
2) Prep. encofrado																														
3) Excavación p/cimiento																														
<u>TANQUE SUPRAGANEO</u>																														
1) H*A* prep cornaderas																														
2) Extracción de tuvos																														
3) Inst. electrica																														
<u>SALON</u>																														
1) Colocación azulejos																														
2) Revoque revosues																														
3) Colocación pisos																														
Días de Lluvias: 7,9,20																														

設置し、洗じように使用された汚水の再利用については考慮されていない。雨水は各卸売場の倉庫の周辺に数カ所雨水受水口が設けられ3系統の排水管を通じて中央卸売市場外に放出される設計となっている。汚水・雨水は青果物の残渣やゴミなどにより詰った場合には点検・処理できるような方法を考慮しておく必要がある。給排水施設の利用の上では特に問題はないようである。

(5) 電気配線の設計と利用上の適否の検討

中央卸売市場における電気配線の設計は屋内灯系統と屋外灯系統に分けられ設計されている。屋内灯系統は、各倉庫に配電盤を設置する設計となっており積算電力計も各倉庫（第1ブロック、第4ブロックの場合には各卸売業者卸売場）に設置するようになってお

3 一表 4 中央卸売市場建設工事の進捗状況表 (1 9 8 1 年 2 月 2 8 日現在)

SITUACION DE LA OBRA DE ABASTO EJEC.

	BLOQUE1	BLOQUE2	BLOQUE3	BLOQUE CENT	BLOQUE4	BLOQUE5	PORTAL ENTR	BLOQUE ADMIN	TANQUES	EDIF MULTIUSO	PORTALES AREAS VERDES Y CER-COS PER/METRAL
DEMOLICION Y LIMPIEZA	100	40	-	100	100	25	100	100		100	
RELLENOS Y COMPACTACION	100	50	-	20	120		-	-		-	
CIMENTO	100	60	-	100	100		10	-	70	100	
MAMPOST NIVELACION	100	60	-	60	80		-	-		100	
MANPOST ELEVACION	100	50	-	-	40		-	90		100	
TECHO	90	-	-	-	25		-	100		-	
ESTRUCTURA DE H° A°	-	30	-	40	60		10	-		-	
CONTRAPISO	100	-	-	-	-		-	40		100	
AISLACION LOSA H° A°	100	-	-	-	60		-	90		100	
REVOQUE	80	-	40	-	-		-	80		100	
REVESTIM. AZULEJOS	100	-	-	-	-		-	90		100	
CARPINTERIA DE MADERAS	80	-	-	-	-		-	20		100	
PISOS	90	-	-	-	-		-	10		100	
CARPINTERIA METALICA	20	-	-	-	-		-	-		100	
PINTURA	20	-	-	-	-		-	-		80	
ARTEF BANOS	-	-	-	-	-		-	20		90	
INST. ELECTRICA	70	-	-	-	-		-	20		80	
INST. CLOACAL	90	-	-	-	-		-	90		100	
INST. PLUVIAL	50	-	-	-	-		-	20		90	
INST. AGUA CTE	90	-	-	-	-		-	90		100	
PISO DE HORMIGON	20	-	-	-	-		-	-		-	

3-表 5 中央卸売市場建設工事の今後の工事実行計画 (1981年2月末日～7月末日まで)

SITUACION DE LA OBRA DE ABASTO PREVISTO

	BLOQUE1	BLOQUE2	BLOQUE3	BLOQUE CENT	BLOQUE4	BLOQUE5	PORTAL ENTR	BLOQUE ADMIN	TANQUES	EDIF MULTISO	PORTALES AREAS VERDES Y CER-COS PER/METRAL
DEMOLICION Y LIMPIEZA	100	100	100	100	100	100	100	100		20	Sendas
RELLENOS Y COMPACTACION	100	100	100	100	100	CDFMOL	-	-		-	Peatona
CIMIENTO	100	100	100	100	100		100	-	100	20	lps 100
MANPOST NIVELACION	100	100	100	100	100		100	-		20	Arpas
MANPOST ELEVACION	100		100	100	100		100	90		20	Vpids 100
TECHO	-		-	-	100		100	100		-	Cerca
ESTRUCTURA DE H° A°			-	100	100		100	-	100	-	Perimp flal 100
CONTRAPISO			100	-	100		100	40		20	
ALSLACION LOSA H° A°			-	-	100		-	90		100	
REVOQUE			100	100	100		100	80		40	
REVESTIM. AZULEJOS			-	-	100		100	90		100	
CARPINTERIA DE MADERAS			100	100	100		100	20		90	
PISOS			100	-	100		100	10		20	
CARPINTERIA METALICA			100	100	100		100	-		10	
PINTURA			100	100	100		100	-		100	
ARTEF BANOS			100	-	100		100	20		100	
INST. ELECTRICA			100	-	100		100	20		80	
INST. CLOACAL			100	100	100		100	90		100	
INST. PLUVIAL			100	100	100		100	20		100	
INST. AGUA CTE			100	100	100		100	90		100	
PISO DE HORMIGON			100	100	100		-	-		-	

り利用上の面からみると特に問題はない。また、屋外灯の配線系統は、駐車場及び各舎屋間に自動車の通行に障害にならないように屋外灯を設置するような配線となっており、この場合も利用上の面からみて特に問題はない。しかし総合的な配電盤及び集中的な監視盤によるシステムの保守管理となっていないようであり、保守管理には不便であろう。また、卸売市場に冷蔵庫、バナナ発酵室、洗篠機選別機などの諸施設を設置した場合の動力モーターの負荷に対しての屋内灯系統の電気配線の許容能力は十分検討されていない。したがって動力負荷に対しては別系統の電気配線とし、監視盤を設置して保守管理が容易かつ、安全な配線をすることが必要である。

(6) 電信電話施設と市場内通信連絡施設の設計の適否の検討

卸売業者・付属商などの電信電話設置用の引込配線や管理事務所の電信電話の設置の設計が行なわれているので卸売業者・付属商などの営業・業務や管理事務所の業務等の連絡には支障がないようにおもわれる。しかし、公衆電話の設置については不明確であり、買い出しの利用上からみて問題があるようにおもわれる。また、市場内の不特定多数の卸売市場利用者への通信連絡施設、例えば市場内放送施設・設備・電光掲示板・モニターなど音声映像による通信連絡施設の設計に関しても不明確であるので卸売市場利用者の情報収集・提供・管理事務所の業務連絡などの諸施設の整備が必要である。

(7) ゴミ処理・衛生施設等の設計の適否の検討

中央卸売市場で生ずる廃棄物としては青果物の残渣・ダンボール・木箱（さらには紙くず・繊維くず・木くず）廃プラスチック類などである。これらのゴミ処理としてアスシオン市所有の清掃車を一定時刻に運行し収集する計画になっているがその運行台数は不明確である。一定時刻に運行したとしてもその時刻以外は卸売市場の清潔さを維持することは困難である。

青果物の残渣・廃プラスチック類などの不燃性廃棄物の貯留設備、悪臭防止設備あるいは、ダンボール・木箱などの可燃性廃棄物の焼却設備などについての設計も不十分である。卸売市場を常時清潔に維持するためには廃棄物処理施設を設置し、清掃車の運行を円滑に行う必要がある。

便所・手洗所などの衛生施設は各舎屋の左右両側に設置する設計となっている。卸売業者・付属商・管理事務所職員にとっては問題はないであろう。しかし、買い出し人が集中する時間帯における利用上の面からみた場合には衛生施設は不足すると思われることから卸売場舎屋外に数か所衛生施設を設置する必要がある。

(8) 駐車場施設・ガソリンスタンド施設とバス運行設計の適否の検討

駐車場の規模は約 $20,000\text{ m}^2$ （市場内構内道路は除く）で設計されておりさらにこの2倍の拡張可能用地がある。駐車一区画面積を 20 m^2 とすれば、1,000台の自動車がまた、駐車場一区画面積 25 m^2 とすれば800台の自動車の駐車が可能である。アスンシオン市地区公設小売市場、民営小売市場における青果物小売人は約3,500人であり、それらの多くは手押車により買い出しを行っているのが現状である。これらの小売人の自動車保有状況は明確ではないが大部分は保有していないと考えられる。そのため、購入した青果物の輸送に当っては、卸売業者の配送車・運送業者のトラック・および市営の配送車に依拠せざるを得ないであろう。このような状況からみて駐車場の規模としては余裕があると考えられる。

ブロック1・ブロック4の卸売場舎屋の周囲には高さ約1m、巾約2mのプラットホームがつけられており卸売場の床面の高さもプラットホームの高さと同じである。これは日光・熱・雨水などにより荷役過程での青果物の品傷みを防止することができるメリットがある。搬入車からの青果物の積卸し、配送車への積荷の荷役作業には便利である。しかし、買い出し人が手押車により数ヶ所の卸売業者から仕入れる場合には不便である。フォークリフトやベルトコンベア、コロコンベアなどによる機械荷役の構想はあるが具体化されていない。さらに、小売人のための「仕入専用バス」の運行の構想もあるが具体化されていない。駐車場内にガソリンスタンド施設を設置する計画は現在ないが業務開始後の状況をみてから考慮することになっている。

(9) 市場内管理体制の適否の検討

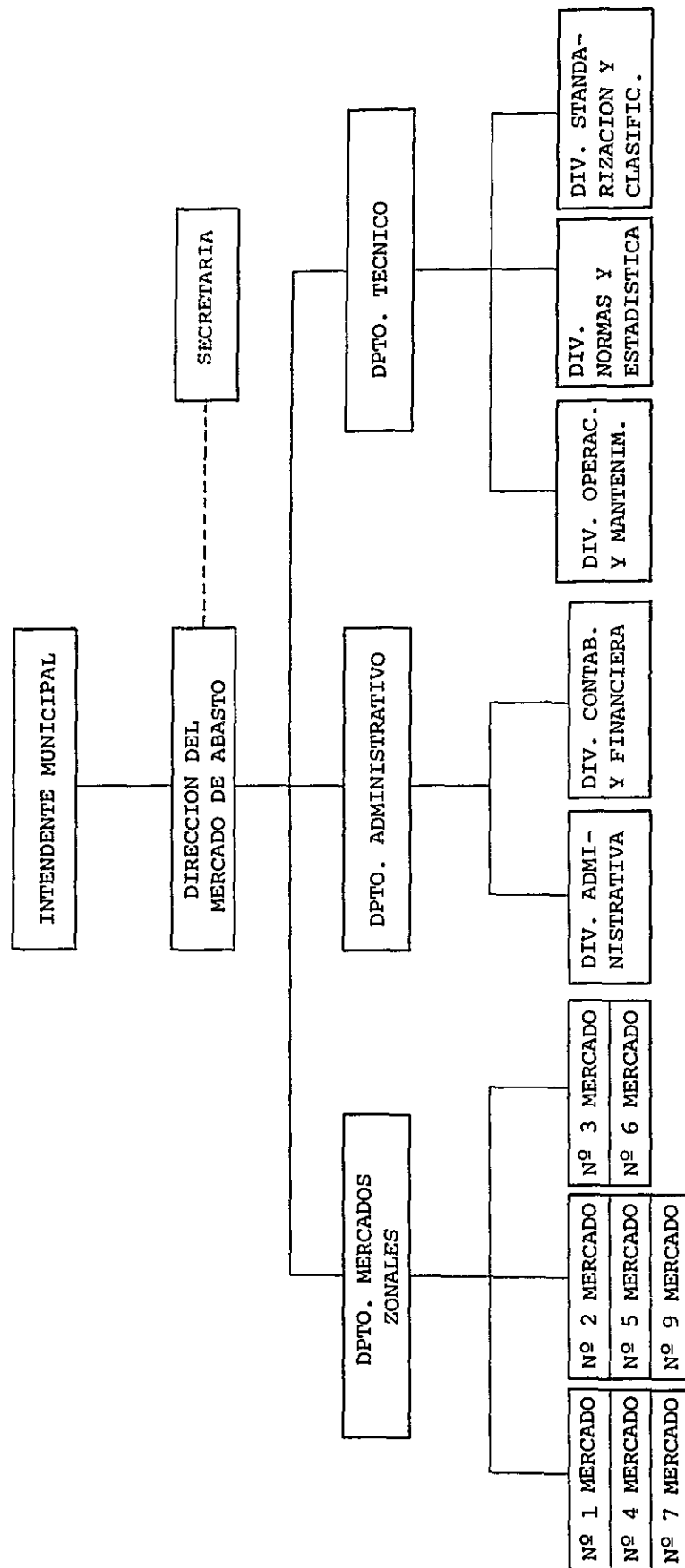
市場内の秩序保持のための諸制度と管理・取締に関する方針の原案は完成しており現在市場管理担当部署の整備が進められている。

通常、一般的な中央卸売市場の管理事務所の業務としては庶務・経理・衛生・警備（市場内交通の取締りを含める）の管理業務・電気・電話・冷蔵庫等の施設・設備の保安業務・卸売市場の買売取引などを指導する業務・統計情報の収集・処理・提供を行う業務が考えられる。

当該市場の市場管理体制の原案は3-図5に示すとおり完成している。定員は37人を予定しており（3-表6）現在12人が任命されている。市場運営についてはブラジルのセアザ中央卸売市場から職員を招き組織化を進めている。経理事務や建築設計などの専門家は配置されているが、市場運営や統計情報事務の技術者は配置されていない。管理・保

3-图5 中央卸売市場管理組織図

ORGANIGRAMA DE LA DIRECCION Y ADMINISTRACION DEL MERCADO DE ABASTO



安部署の職員の管理能力はあると考えられるが、市場運営や統計情報に関しては未知数の部分が多く、技術能力の開発は今後の課題として残されている。

3 - 表 6 中央卸売市場において必要な管理職員及び専門技術者数

NUMEROS Y CAPACIDADES NECESARIAS DE LOS TECNICOS Y PERSONAL ADMINISTRATIVOS DEL MERCADO DE ABASTO

CANTIDAD	CARGO	FORMACION	ESPECIALIDAD
1	DIRECTOR	UNIVERSIT.	ADMINISTRACION
1	DPTO. ADMINISTRATIVO	UNIVERSIT:	CONTABLE ADMINISTRATIVO
1	DPTO. TECNICO	UNIVERSIT.	ING. AGRONOMO
2	DIV. STANDARIZACION Y CLASIFICACION	UNIVERSIT.	ING. AGRONOMO
1	DIV. ADMINISTRATIVA	BACHILLER	BACHILLER COMERCIAL
1	DIV. CONTABLE-FINANCIERO	BACHILLER	TENEDOR DE LIBROS
1	DIV. OPERACION-MANTENIMIENTO	BACHILLER	MANTENIMIENTO
1	DIV. NORMAS-ESTADISTICAS	BACHILLER	ESTADISTICO
1	SECRETARIA	BACHILLER	SECRETARIA EJECUTIVA
1	ASISTENTE CONTABLE	BACHILLER	BACHILLER COMERCIAL
1	ASISTENTE ESTADISTICA	BACHILLER	BACHILLER
1	OPERADOR MAQUINA DE CONTABILIDAD		
2	MANTENIMIENTO	BACHILLER	MANTENIMIENTO
2	CAJERO	BASICO	BACHILLER
8	ENCARGADO DE LIMPIEZA	PRIMARIO	
2	PORTERIA	SECUNDARIO	
8	ORIENTADORES	PRIMARIO	
1	CHOFER	PRIMARIO	
1	ORDENANZA	PRIMARIO	

TOTAL: 37

2. 中央卸売市場内外の交通路線

(1) 中央卸売市場外の交通路線

パラグアイ共和国における東部・南部地域およびアスンシオン市以東の近郊地域の産地からの青果物の輸送は国道1号線（アリスカル・ロベス道路）・国道2号線（アリスカル・エスチガリビア道路）を通過してアスンシオン市内に搬入されている。中央卸売市場はアスンシオン市市街地から約10km離れた地点で市域の東南端に位置しており道路に面して建設されている。国道1号線、国道2号線との交通路線の接合が容易である。

アスンシオン市内の地区公設小売市場の位置を示したのが3-図6である。この地区公設市場から中央卸売市場までの距離と所要時間を示したのが3-表7である。地区公設市場のうち最も活発な取引が行なわれている第4地区公設市場までの距離8.2kmであり、自動車での所要時間は17分である。他の地区公設市場の場合も所要時間30分以内にあり、小売業者が中央卸売市場から自動車で行くのは非常に便利である。

（時間別交通量と走行速度との関係から一定距離の所要時間を推計できるが各道路の道路幅員・道路構造・信号設置数・渋滞距離及び時間・車間距離・最大交通量などの前提条件を必要とする。しかし、それらのデータが不足しているので実際には乗用車を試走させ所要時間を測定している。ここでの所要時間は、平均走行速度を30km/hとし、この速度に基づき最短距離と考えられるルートで測定した時間を所要時間としている。）

(2) アスンシオン市内交通整備計画

アスンシオン市の市街化が周辺地域に拡大し都市地域が「ドーナツ化現象」となり、市域の外えんに伸びており、この地域を含めた都市計画・交通整備計画が進められている。特に第4地区市場周辺にはバスターミナルがあり、市場の混雑と関連して第4地区市場周辺の交通整備が急務となっている。都市計画では東部地域から都心部への道路を新設整備し、この道路と関連してバスターミナルを移転する計画であって、第4地区市場付近は将来商店街として区画整備される計画である。市内交通整備計画の具体化は今後の課題として残されている。中央卸売市場の開設と関連して交通事情が変化するのでバス等の交通路線の変更などにつき、バス会社等と交渉中であり、バスターミナルなどの設置については作業を進めている。

(3) 中央卸売市場内の交通動線

中央卸売市場内では、市場内の荷物の流れ方を確定し、流通能率と経済性を基本とする流通システムを確定する必要がある。そのためには荷物の搬入車と配送車の駐車を区分し、

搬入経路と搬出経路が絶対に衝突しないように流通動線を規定する必要がある。

流通動線の規定に当って、搬入経路と搬出経路を区分するには、中央卸売市場の出入口の設置場所により大きく左右される。当該市場の出入口は1カ所に集約されているので市場内で物理的に搬入経路と搬出経路の区分及び搬入車と配送車の駐車区分を行うことは非常に難しい。しかし、搬入時間と搬出時間を設定し、それぞれの時間帯で搬入経路・搬出経路を規定することができる。

現在の各地区小売市場の売場は非常に狭く、貯蔵する場所がないので消費者の購買動向に応じて、1日に2～3回の仕入を行っているのが現状であるが、新設中央卸売市場から仕入れる場合は1日1回仕入れに限定せざるを得ない。その場合公設小売市場に倉庫または荷置場が必要となる。現状ではその対策は考えられていないようである。

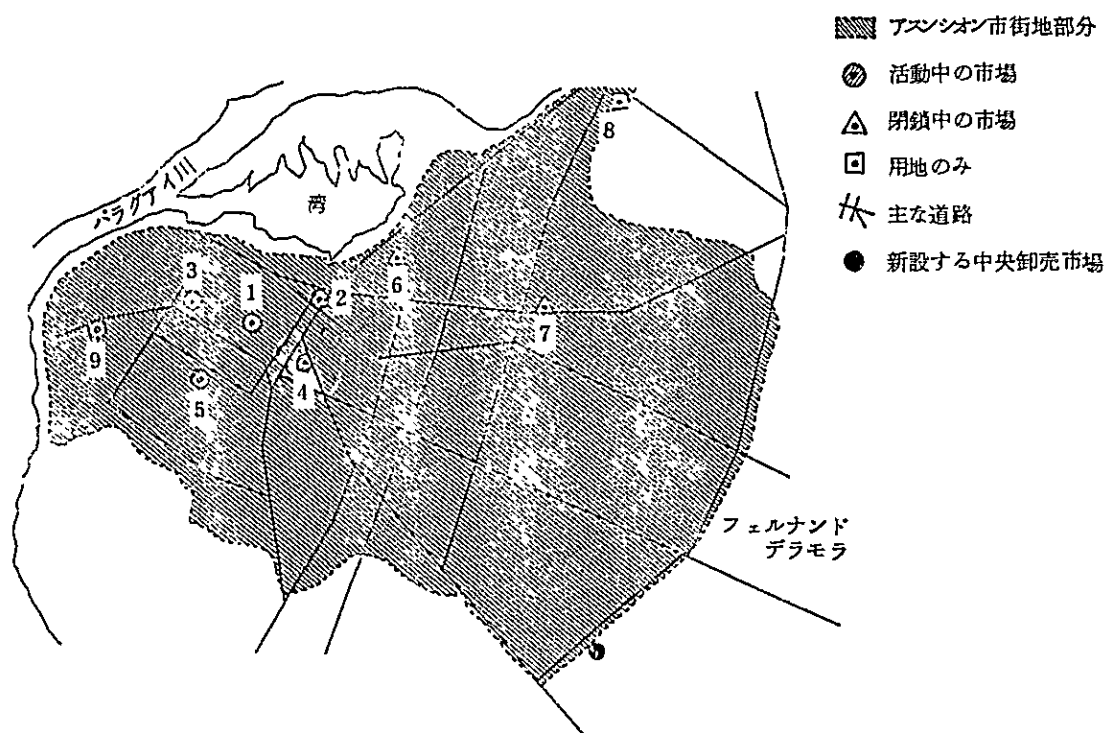
中央卸売市場に青果物を搬入する時間帯を午後3時～午後8時に設定し、小売業者への販売時間を翌日午前6時～午前11時の時間帯とする。また、公設小売市場の販売時間を午後3時～午後8時の時間帯に設定することにするを考究すべきであろう。（現状では小売市場は1日中店を開いているがピークは朝7時～8時と夕方5時～7時のようである。）

中央卸売市場内で搬出入経路を規定するに当って重要なことは市場内の交通容量である。現在の地区市場の小売人は第4地区市場周辺に立地する卸売業者の保管施設・売場まで徒歩で行き、一輪車で小売人自身が小売市場まで持ちこんでいるのが現状である。中央卸売市場が10km以上離れた場所に建設されることによりこれまでの小売人の仕入れ方法は、自動車運送に変えなければならない。現在の小売人の多くは、運送手段を所有していないのが現状であるので仕入用バス並びに配送車が必要となる。このような状況を考慮し小売業者1日当り平均取扱数量を0.3トンとし卸売市場の1日当たり総取引量を約690トンとして卸売市場内の自動車駐車台数をみたのが3-表8であり、最大駐車台数632台である。（3-表9、3-表10を参照）

これまで検討した荷物の搬出入時間、卸売市場内の交通容量に加え、倉庫及び駐車場の配置を考慮し、卸売市場内の流通動線を推察すると3-図7のようになる。正門の出入口はそれぞれ14.4mとなっており、3車線となっているから、かなり余裕がある。このような流通動線の規定に当っては、さらに市場内における歩行者の流れを考察しておく必要がある。このような流通動線の規定を確定したうえで、卸売市場内に掲示し、卸売市場利

用者に連絡し、卸売市場内の交通の流れが円滑に流れるように交通規制する必要があるであらう。

3-図6 中央卸売市場・公設小売市場位置図



3-表7 中央卸売市場から公設小売市場までの距離及び所要時間

(単位 距離：Km
所要時間：分)

地区公設市場	距離	所要時間
第1地区公設小売市場	10.18	21
第2地区公設小売市場	9.59	20
第3地区公設小売市場	11.18	23
第4地区公設小売市場	8.20	17
第5地区公設小売市場	11.00	22
第6地区公設小売市場	10.80	22
第7地区公設小売市場	8.05	16
第8地区公設小売市場	12.05	24
第9地区公設小売市場	14.60	30

注 距離及び所要時間は、乗用車、時速30Kmで数回走行し、測定した平均距離、平均時間である。

3-表8 中央卸売市場内自動車駐車台数

(単位:台)

車種 \ ケース	モデル(1)	モデル(2)	モデル(3)	モデル(4)	モデル(5)	モデル(6)
仕入バス	47	19	47	19	47	19
搬入車	60	22	60	22	169	60
配送車	60	22	169	60	169	60
小計	167	63	276	101	385	139
通勤・営業用	247	247	247	247	247	247
乗用車						
計	414	310	523	348	632	386

注1. モデルはつぎのとおりとする。

	モデル(1)	モデル(2)	モデル(3)	モデル(4)	モデル(5)	モデル(6)
仕入バス	50人収容	50人収容	50人収容	50人収容	50人収容	50人収容
搬入車	12トン車	12トン車	12トン車	12トン車	4トン車	4トン車
配送車	12トン車	12トン車	4トン車	4トン車	4トン車	4トン車
運転回数	1	3	1	3	1	3

- ① モデル(1)の場合は搬入車・配送車を12トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし1往復した場合のモデルである。
- ② モデル(2)の場合は、搬入車・配送車を12トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし3往復した場合のモデルである。
- ③ モデル(3)の場合は、搬入車12トン車、配送車を4トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし、1往復した場合のモデルである。
- ④ モデル(4)の場合は、搬入車・12トン車、配送車を4トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし、3往復した場合のモデルである。
- ⑤ モデル(5)の場合は、搬入車・配送車を4トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし1往復した場合のモデルである。
- ⑥ モデル(6)の場合は、搬入車・配送車を4トン車とし、仕入バスを1台当り50人収容とし、3往復した場合のモデルである。

注2. 配送車の台数推計に当っては、現在の小売業者数2,302人が1業者当り平均青果取扱量を0.3トンとしている。

注3. 通勤・営業用乗用車は、市場管理者用として20台、卸売業者用197台、付属業者用10台、その他20台と推定される。

注4. 道路上での立売行商人については、その人数が不明確なので推計から取り除いている。

3-表9 小売業者の仕入バス推定必要台数

(単位 小売商：人
仕入バス：台)

小 売 市 場		小 売 商	仕入バス必要台数(1)	仕入バス必要台数
公 設 小 売 市 場	第 1	1 3 7	3	1
	第 2	9 7	2	1
	第 3	4 6	1	1
	第 4	9 2 0	1 9	7
	第 5	1 6 7	4	2
	第 6	—	—	—
	第 7	—	—	—
	第 8	—	—	—
	第 9	2 9	1	1
民営小 売市場	アラゴン	6 6 0	1 3	4
	ボナンザ	2 0 0	4	2
計		2, 2 5 7	4 7	1 9

注1 仕入バス必要台数(1)は1台当り50人を収容する場合の推定必要台数である。

注2 仕入バス必要台数(2)は1台当り50人を収容し、卸売市場の販売時間に3往復した場合の推定必要台数である。

注3 道路上で立売行商人についてはその人数が不明確なので推定から取り除いている。

3-表10 小売業者への配送車推定必要台数

(単位 取扱高：トン
配送車：台)

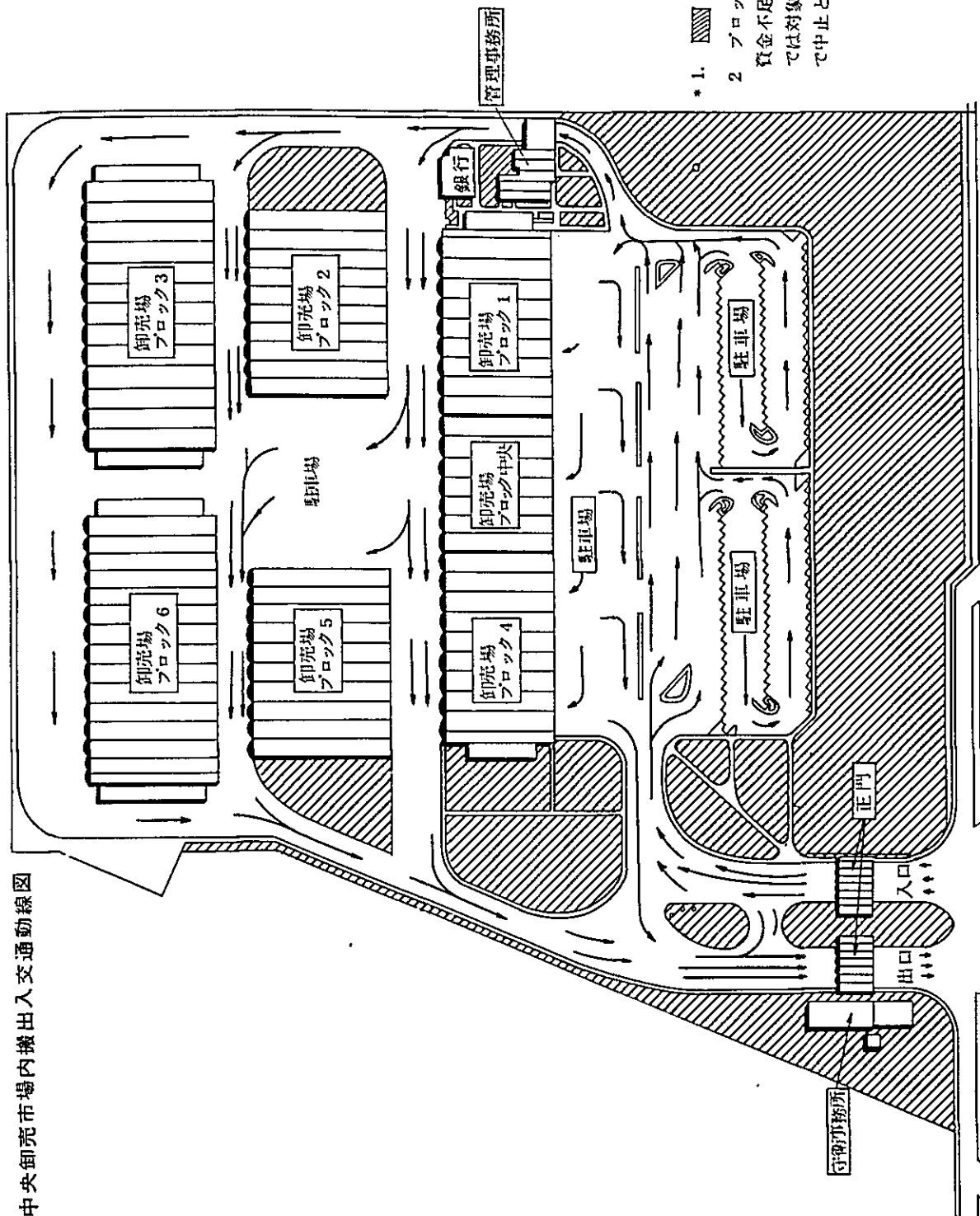
小 売 市 場		取 扱 量	配送車必要台数(1)	配送車必要台数(2)
公 設 小 売 市 場	第 1	4 1	4	2
	第 2	2 9	3	1
	第 3	1 4	2	1
	第 4	2 7 6	2 3	8
	第 5	5 0	5	2
	第 6	—	—	—
	第 7	—	—	—
	第 8	—	—	—
	第 9	9	1	1
民営小 売市場	アラゴン	1 9 8	1 7	6
	ボナンザ	6 0	5	2
計		6 7 7	6 0	2 2

注1 配送車必要台数(1)は、12トン車の場合の推定必要台数である。

注2 配送車必要台数(2)は、12トン車で3往復した場合の推定必要台数である。

注3 小売業者2,257人のうち、1業者平均青果取扱量を0.3トンとした場合の必要台数である。

3-図7 中央卸売市場内搬出入交通動線図



3. 中央卸売市場制度の確立

(1) 中央卸売市場制度の確立の必要性と可能性

卸売市場は、一般に生鮮食料品の流通上の特性に対処して売手と買手の双方に納得のいく適正な価格の形成・能率的な集分荷・迅速確実な代金決済等の機能を営むものである。当該中央卸売市場のごとく公設の大規模卸売市場として中央卸売市場を整備するに当っては公開性を原則として生産者・消費者双方に対する公正・中立的な立場を保持し、多数の買出人に対する無差別公平な取引の確保、生産者相互間に対する公平な価格の実現等の観点から中央卸売市場の開設・運営・整備について国または市が指導・監督及び助成を行う必要があり、中央卸売市場制度を確立する必要がある。特に併設に当って、卸売業務を行う卸売業者に対する営業の許可又は廃止の届出・卸売業者の業務及び財務の監督等を行うとともに、即日上場・即日販売を原則とし、取引方法を規制するなど中央卸売市場制度を確立する必要がある。

パラグアイ共和国におけるアスンシオン市は日本における特別都市東京都に比べて、さらに強い独立の特権が与えられており、特殊性がある。アスンシオン市長は大統領が任命する制度となっており、閣僚と同等の取扱を受けることとである。

その法制は法令222号により制度化されているが、国家組織のうえでは内務大臣の指揮・監督を受けることになっている。現在の市長は現役陸軍少将であり、重要案件は直接大統領と相談してきめることができることになっている。

(このことにつき内閣企画庁局長とアスンシオン市の法律顧問の両氏は、パラグアイ共和国の植民地時代からのスペインの特権的支配都市の慣例が制度化されたものであると説明している。)パラグアイ共和国の行政組織は3-図8及びアスンシオン市行政的組織は3-図9に示すとおりであり、日本の政府機構にあてはめて説明することは無理があるようである。

中央卸売市場制度の確立に当って、パラグアイ共和国には市場の法令がなく、農牧大臣の所管外であり、農牧省には卸売市場を所管する部署はない。したがって、すべてアスンシオン市長の権限にもとづきアスンシオン市の条令として市場の諸制度を作成する必要がある、その確立の可能性は十分にある。

(3) 中央卸売市場制度の確立のための助言及びアスンシオン市当局の動向

- ① 1980年3月に派遣された調査団は、中央卸売市場の運営管理制度の法制化について助言し、諸制度の運用によって市場業務を計ることの必要性を説明している。

② 1981年3月に派遣された調査団は、中央卸売市場の諸制度につき次の参考案（巻末の付属書類2, 3, 4, 5を参照のこと）を提示して助言した。

- ① アスンシオン市中央卸売市場条例（案）
- ② アスンシオン市中央卸売市場条例施行規則（案）
- ③ アスンシオン市中央卸売市場業務規程（案）
- ④ アスンシオン市中央卸売市場受託販売契約約款（案）

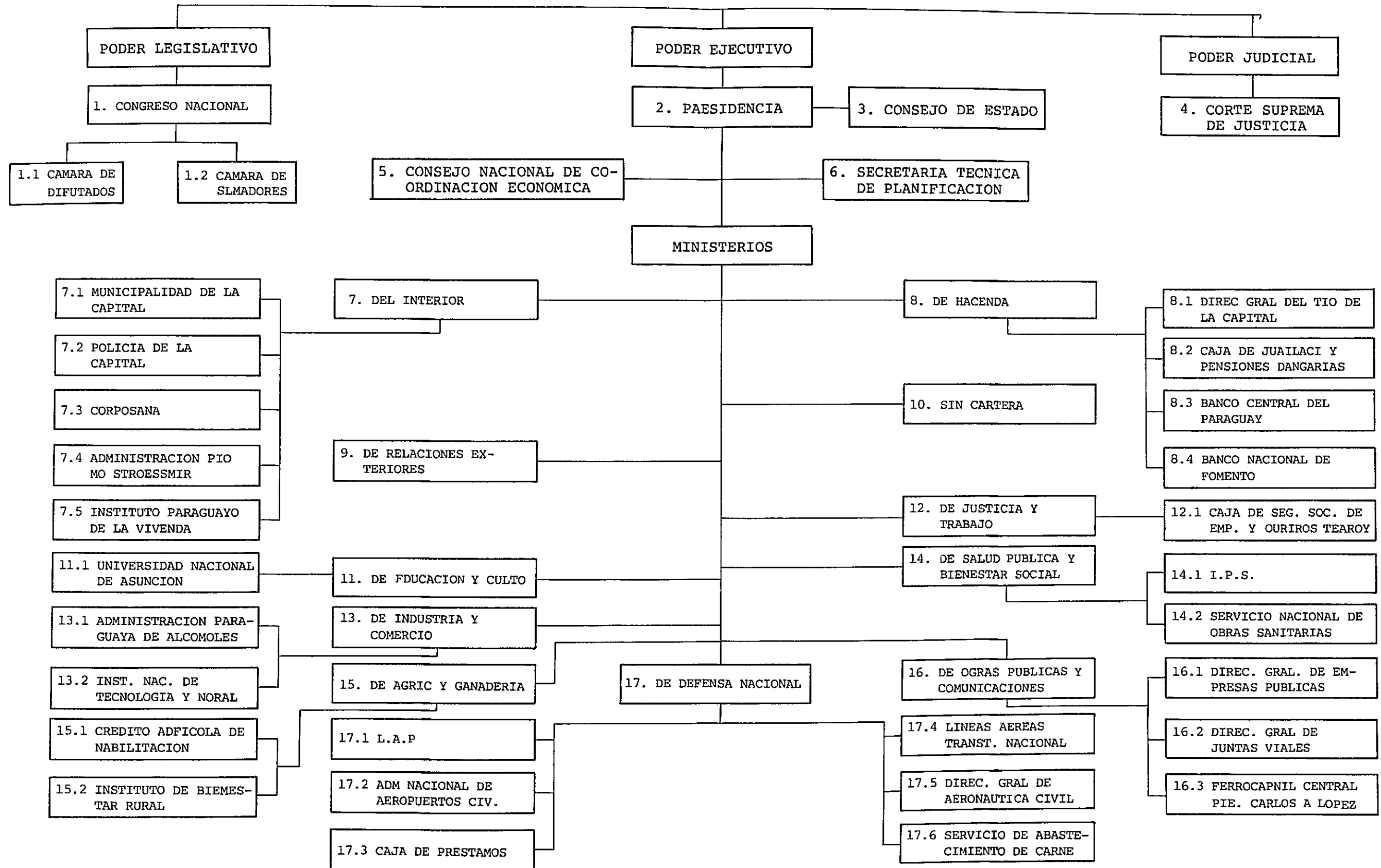
③ アスンシオン市当局においてはつぎの3種の法制化を進め法令試案が完成されており（巻末の参考書類7を参照のこと）諸手続きを経て施行する運びとなっている。

- ① REGLAMENTO DE MERCADO
- ② MINIMIZACION DE EFECTOS ADVERSO EN EL TRASLADO
DE USVARIOS AL MERCADO DE ABASTO
- ③ PROYECTO DE PROTECCION

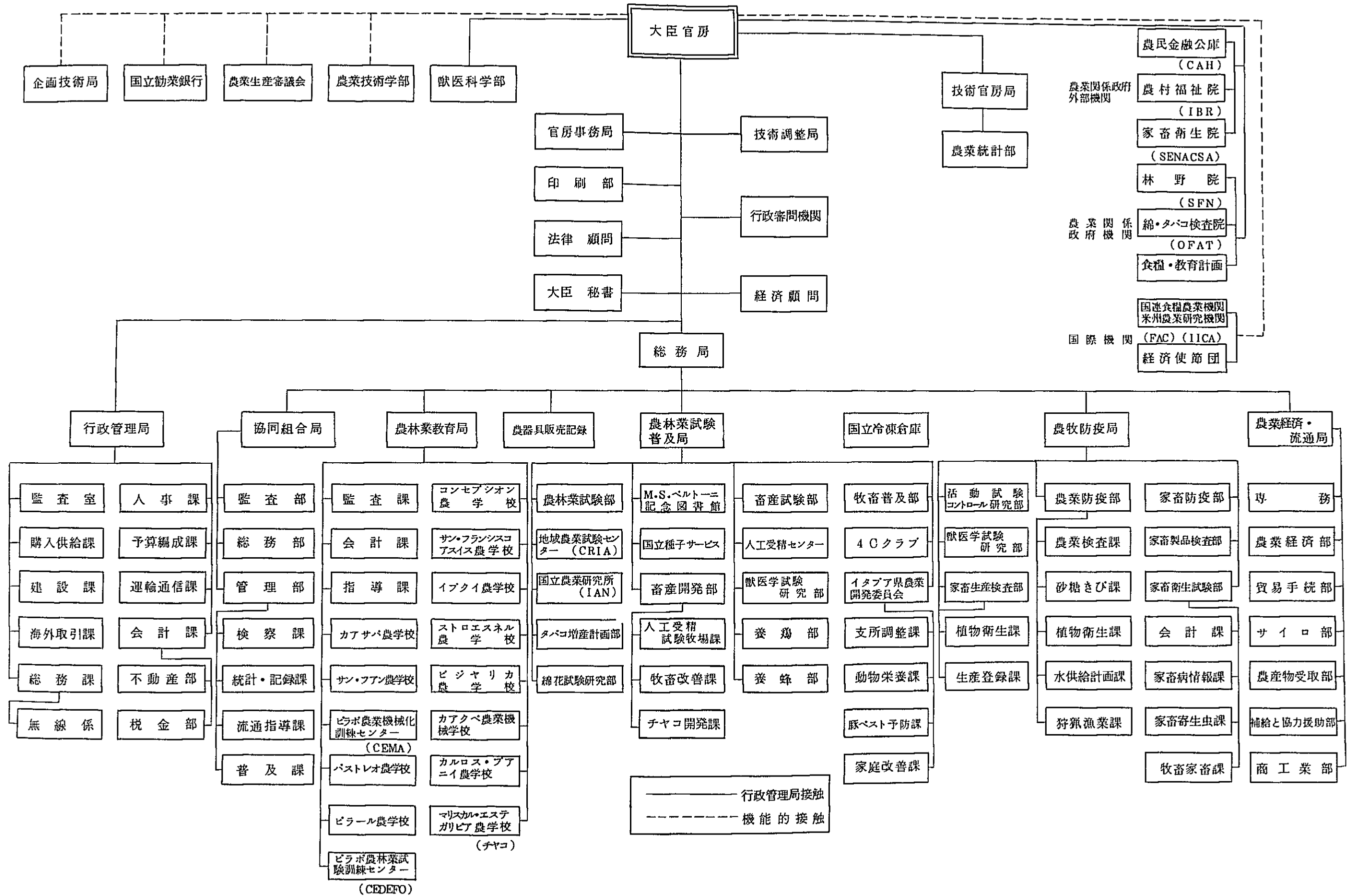
④ アスンシオン市当局は日本案を参考として法案の内容を検討して法令を整備し施行する旨を述べている。卸売市場の業務規程は市場の内規的な制度としたい意向のようである。

3-図8 パラグアイ共和国行政組織図

ORGANIGRAMA DE GOBIERNO PARAGUAYO
REPUBLICA DEL PARAGUAY



3-図9 パラグアイ共和国農牧省組織図



第4章 新流通システムの確立

1. 新流通システムの確立の必要性と可能性

パラグアイ共和国の青果物の産地の出荷かつアスンシオン市における流通・消費までの青果物の流通をみたのが4-図10である。現状の青果物の産地からの供給は農家あるいは農業団体の組織化が不十分であり、卸売業者がトラックにより産地を廻り、生産物をみて出荷を促し、集荷しているものが多い。

卸売業者は価格を決定せず農家の無条件委託により集荷する。一部買取りもあるが、取扱量の数%程度である。無条件委託による卸売業者の販売手数料率は販売価格の7~10%であるが、他に運賃、取引税など諸経費を含めると10~15%となるようであり、流通経費はきわめて高い。生産者に対する仕切金の支払は契約書を取りかわすことはないが、得意先取引となっているので月に2回~3回にまとめて支払っている。197卸売業者の販売は総て相対取引であり、取引価格は卸売業者によって一方的・恣意的に決定されている。大手の卸売業者は中間卸売業者（仲卸売業）に総販売額の30%~50%を販売している。

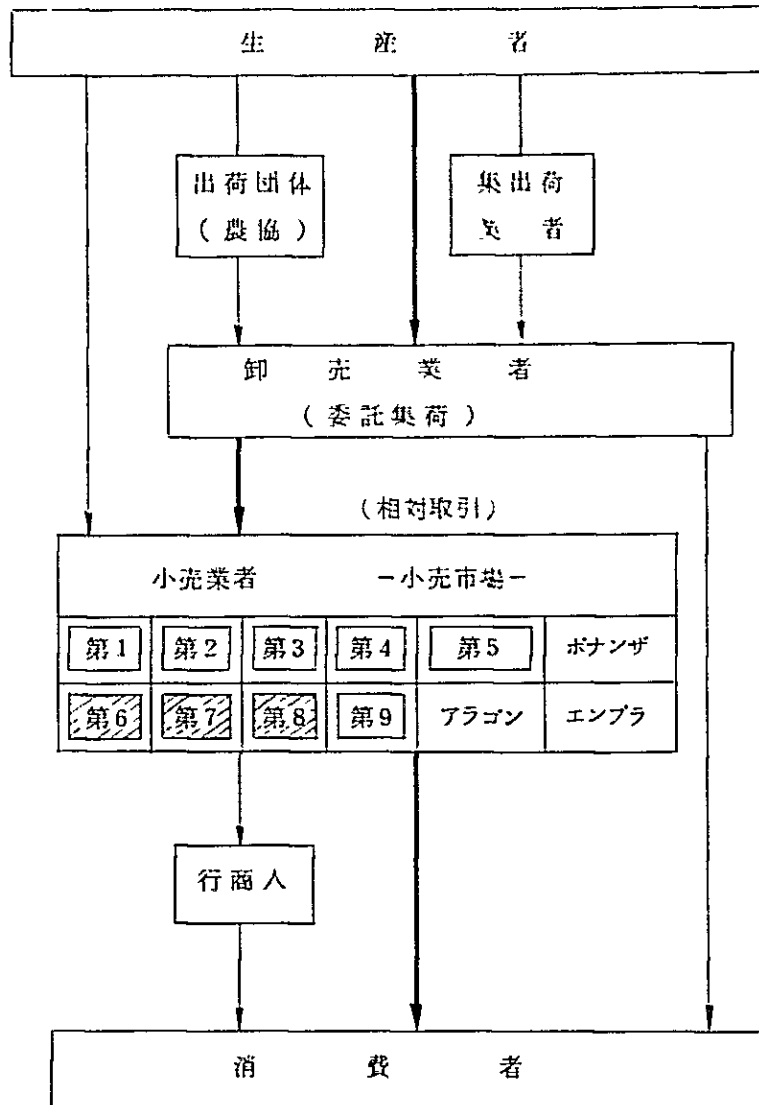
卸売業者は貯蔵庫を附設した店舗を構えそのほとんどは第4公設地区市場の周辺に立地し、卸売機能を果たす傍ら中小卸売業者は直接小売業も行なうのが現状である。

小売業者の取扱量は少量であり、品目も少なく、品物は不揃いであり、規格や定価もなく売り方は立売りである。小売業者のほとんどは独立した店舗をもたず小売市場のみで販売しているが、市内の町角では特定の果実に限り立ち売りしている。

公設小売市場は食肉売場として1944~5年頃に設置されたものであるが9つの市場のうち、現在商業活動を行っている市場は6市場であり、他の2市場は休眠状態であり、他の1市場は市場建物はなく用地だけである。この各公設小売市場の基幹的な建物の中心部は主として食肉小売店が占めており、周辺部の附属建物に青果小売店が屋台店のごとく配置されており、わずか1m²余りの売場で販売している。これら公設地区市場で営業している小売業者は1,397人であり、このうち第4公設地区市場の小売業者は65.9%（920人）を占める。地区公設小売市場のほか民営の小売市場が3つあるが、このうち第4公設地区市場周辺に立地している大規模小売市場は1975年以後に設立されたものである。小売業者は1~4区画（1区画1.8m²）を借り、小規模な売場で販売している。

個々の小売業者は取扱品目が少なく、品物は不揃いであるが地区市場に多数の小売業者が集積することにより地区市場には品揃えの機能がある。第4公設市場とその周辺の民営小売

4-図10 アスンシオン市における青果物流通経路図



注1. 流通量の多い主要な流通経路を示す。

2 小売市場の は公設小売市場を
 は民営小売市場を示す。

3 第6, 第7公設小売市場は閉鎖中であり, 第8公設小売市場は
 用地のみである。

市場は近隣に卸売業者がいることにより、品揃機能が十分に発揮されている。他方では同一商品の小売業者が多数入居しているため販売競争が激しく、アスンシオン市内の青果物の標準的価格形成の役割を果たしている。これらの小売市場の小売業者は周辺の卸売業者から必要に応じて仕入れているが1日2～3回の仕入れを行っている業者が多い。品物は一輪車で運搬しているが場合によっては運搬業者に依頼することもある（運搬費用は1回につき100～120グアラニーである）。これらの市場から購入する消費者の購入時間のピークは午前7時～8時であり、駐車場がなくほとんど徒歩によるか、バスにより買い出しに来るものである。

スーパーマーケットは市内に数カ所あるが周辺の住民の購買力に応じて高級品を販売しているが青果物の販売ウェイトは低い。他に中小卸売業者や小売店から仕入れ箱をさげ販売している多数の歩行商人がいるがその数は確認できない。

2. 新流通システムの開発

アスンシオン市における中央卸売市場の新設は、青果物の流通近代化のワン・ステップである。アスンシオン市への無秩序な農産物の搬入と不明朗な取引を整理し、卸売業と小売業を分化させその結果商品の規格の統一と種類の多様化を促進させ競争市場で卸売価格を決定するメカニズムを形成し、小売市場を含めた秩序ある取引体制整備の方向へ誘導するとともに、産地－中央卸売市場－小売市場間の青果物の流通量を増大させることとなるであろう。

中央卸売市場の新備・整備にともない青果物の生産に伴う季節性や気候による収量の変動にかかわらず農産物を各地域から安定的に仕入れることができ、年間を通じて恒常的に需要に見合った青果物を供給することができる。つまり生産者には安定的な出荷先がまた小売業者には安定的な仕入先が確保されるメリットが生ずる。このことにより中央卸売市場には需給調整機能が作用する。さらに、種々雑多な品目を少量ずつ扱うことが可能となり、取扱品目の増大に伴い、品揃えが充実し、消費の多様化に対応することができる。さらに中央卸売市場における需給均衡による卸売価格の形成、つまり需給均衡価格の形成が可能となるであろう。

この卸売価格と取引数量の公表にともない小売業者の取引の改善を誘発し、計画的な消費者の購買行動へと誘導できる。

これらの諸機能を十分に発揮されるような新流通システムを具体化し、整備する必要がある。

3. 中央卸売市場開設に伴う関係業者の要望

中央卸売市場の開設に当っては、関係業者の意見と要望を吸収し、市場制度と流通システムを確立し、開設者と関係業者の相互理解が必要である。本調査団の調査によると関係業者の中央卸売市場開設に対する意見と要望としてつぎの点が強調された。

① 卸売業者の意見と要望

施設の整った中央卸売市場に入場することにより、青果物流通の改善が計られることを期待している反面、小売業者の販売場所との距離が遠くなることなどにより一様の不安を持っており、特に中小卸売業者は販売競争の激化に対する不安を持っている。そこで中央卸売市場に対してつぎの点を要望している。

ア. 青果物産地での箱詰め、人件費が高くなるので選果機・箱詰めの機械を設置し、青果物の規格と容器の統一を行ってほしい。

イ. 青果物の収穫にともなう季節性や鶏卵などの集中的需要時期に対応できるように鮮度維持と貯蔵のための低温冷蔵施設設備を充実してほしい。

ウ. 中央卸売市場流通ルート確立のために、市場外流通いわゆる産地へ直接買い付けに行くと「産地あらし」を防止してほしい。

エ. 生産者からの入荷量つまり中央卸売市場への搬入量を管理し、搬入総量に関する情報を公開し、正当な販売計画がたてられるようにコンピューターを入れ情報システムを整備してほしい。

オ. 今後は仲卸売業者の発達・小売店の専門化により流通改善が行なわれると考えられるので、青果物の包装機械を整備してほしい。

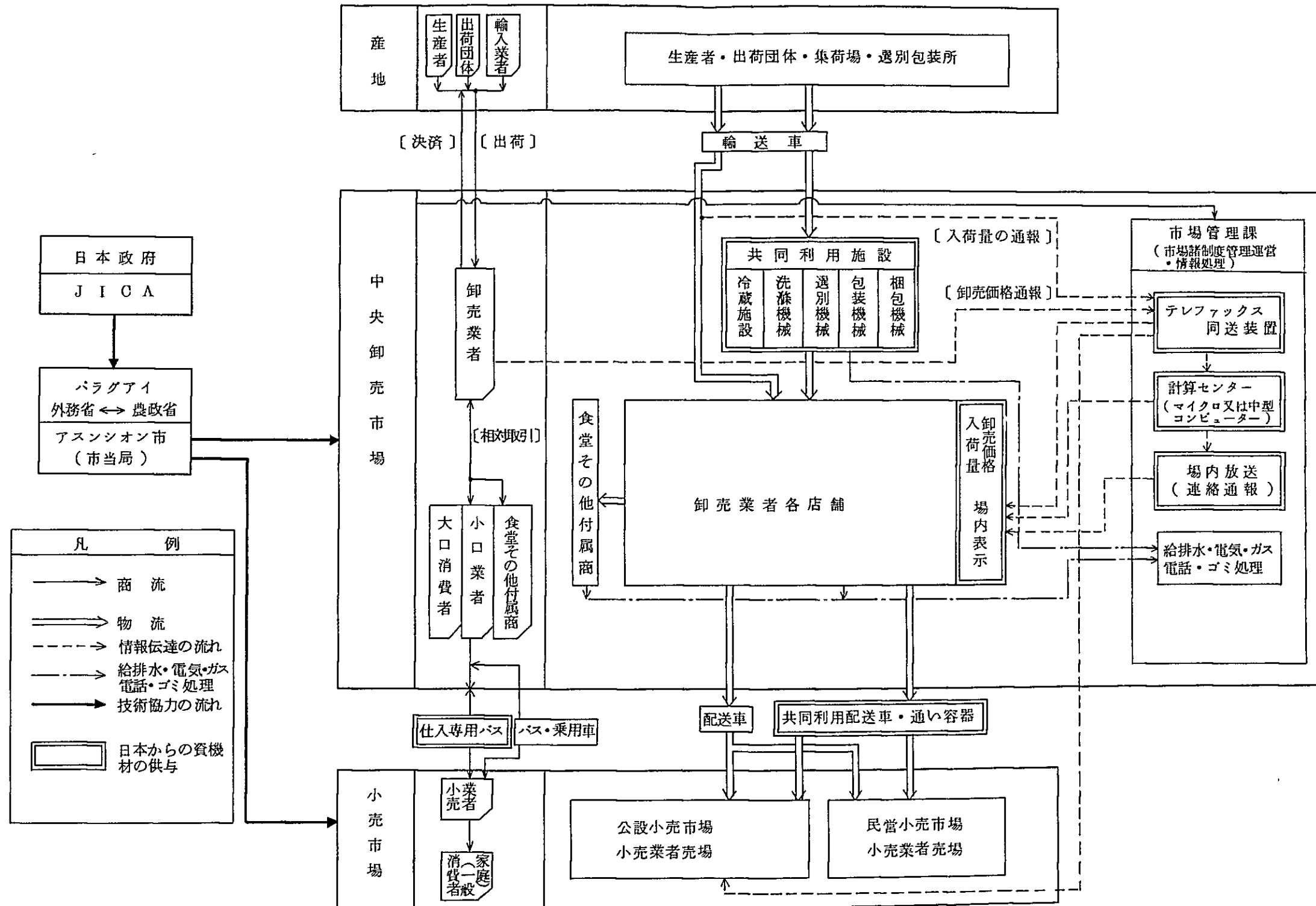
カ. 小売業者は配送車を持っていないので卸売業者による配送の必要性が生ずるであろう。しかし、小売業者すべてカバーすることはむずかしいので中間業者（搬出業者）へ依存する傾向が強まることが考えられ、青果物販売コストが高まる可能性がある。これを防止するために、開設者により配送車を準備し、配送サービスを行ってほしい。

キ. 配送車の運転のために、自動車の洗車・整備場を兼ねたガソリンスタンドを設置してほしい。

ク. 小売業者への配送は卸売業者負担によるケース（通い容器）により行なうことが考えられるのでケース（通い容器）を収納する施設を整備してほしい。

コ. 中央卸売市場の使用料が現在の借地料よりもかなり高くなる可能性があるので使用料を安くしてほしい。また、販売コストを節減するために、青果物取扱に対する物品税

4-図11. アスンシオン市中央卸売市場流通システム



（取引税）が適用されないように考慮してほしい。

② 生産者の意見と要望

ア. 7月～9月にかけての霜による作物被害、トマトなどの立枯れ病による収量の減少、大豆やマンジョカなどの国際相場の影響による大幅な価格変動が生じているのが現状なので、中央卸売市場で需給調整できるように整備してほしい。

イ. 農業労働力の不足により選果作業がむずかしいので中央卸売市場に選果機、箱詰め機械を設置してほしい。

③ 小売業者の意見と要望

中央卸売市場への卸売業者の移転により小売業者の品物の仕入れや引取りに時間を要し、また経費の負担が生ずるので中央卸売市場建設には反対の意見を持っていた。中央卸売市場の建設が進展するにともない現在ではやむをえないものと考えている。現在のバラ取引を中心とする小売業者の仕入や引き取り方法は急激に変えることはできないであろうが将来はケース取引に変える必要があると考えている。仕入先が固定していないので共同仕入れ、予約注文は非常にむずかしいと考えられるが、共同配送により流通の合理化を行うことができる。仕入や引き取り手段を持っていないので配送にかかるコストは開設者や卸売業者が負担してくれることを希望している。

特に仕入バスの運行や、配送車によるピストン輸送など、さらに、小売市場の売場が狭く品物を保管する場所がないので近隣に小売業者が共同利用できる保管倉庫の建設などについて開設者である市当局に特別の配慮が行なわれるように強く希望している。

4. 新流通システムの確立

青果物の流通の現状と改善すべき点を考慮し、青果物流通関係業者の意見と要望を吸収し、中央卸売市場の機能を十分に発揮できるような新流通システムを想定すると4-図11のようになる。この流通システムを確立するためには第1次調査団が提案した「中央卸売市場新設に伴う諸対策」が必要である。それはつぎのとおりである。

中央卸売市場新設に伴う諸対策

- ① 中央卸売市場の卸売場が完成することにより、第4地区公設小売市場の周辺で営業する卸売業者凡そ197店舗は中央卸売市場に収容されることとなる。
- ② 卸売業者が中央卸売市場で、卸売営業を開始した場合直ちに地区公設小売市場の小売人が中央卸売市場の卸売店舗で食品の仕入れを行なうこととなり、その注文に即応して卸売業者が小売人の店舗に食品を配達する必要がある。
- ③ 以上取引の開始に先立って卸売業者を中央卸売市場に収容するための法制化が必要であり、中央卸売市場以外の場所で食品の卸売行為をさせないための法制化が必要となろう。
- ④ 食品取引の公正化に必要な制度と設備（アスンシオン市の市場管理業務）
 - （中央卸売市場における食品別入荷量、販売数量並びに卸売価格の表示等）
 - a 中央卸売市場で営業する卸売業者に毎日入荷した食品の品目別入荷数量と食品の品目別販売予定量を市長に報告する義務を課し、これを市場管理課が取纏めて中央卸売市場の表示板に表示する。表示を卸売業者の個別とするか又は中央卸売市場の総量で表示するかは市当局が実情を勘案してきめる。
 - b 中央卸売市場の卸売業者は取引した、食品別の卸売価格につき午前中の気配価格（高値、仲値、安値）を午前12時迄に市長（市場管理課）に報告する。
 - c 中央卸売市場の市場管理課は当日の食品の品目別入荷数量と当日の卸売価格を取纏めて中央卸売市場に公示すると共に各地区公設小売市場の管理室にテレファックス又はテレックスにより発信するものとし、各地区公設小売市場では受信した結果を流通情報として各公設小売市場の揭示板に表示する。この場合食肉については主要と場又は指定仲買人につき調査して表示する。
 - d 中央卸売市場の卸売業者は毎月15日迄に前月1カ月分の「食品の品目別卸売実績報告」をアスンシオン市長（市場管理課）に提出するものとする。

この報告には品目別産地別入荷数量、品目別地区公設小売市場別捌き数量を記入するほか取引先小売店数を記載するものとする（卸売取引金額は記入しない）。
 - e 中央卸売市場管理課に「中型コンピュータ」及び「パンチカードシステムに要する一連の機械」を設備して、品目別入荷数量と価格変動の分析を行うほか、卸売業者から提出される卸売実績報告書を集計して解析し、毎月刊行する市場月報に登載することにより公表するものとする。
 - f 地区公設小売市場に端末機器として設置するテレックスは将来小売人から中央卸売市

場の卸売業者に対する仕入れ注文に使用することを計画する。

- ⑤ 中央卸売市場方式による新流通システムの発足と関連して、公設小売市場の取引の円滑化を図るため食品の標準化(選別, 等級規格の設定) 取引単位の統一(包装と品位の統一等)が必要である。そのため、中央卸売市場に動力式形状選果機, 食品種別動力包装機, 各種計量器の設備が必要であるが、このほか販売調整のため大型冷蔵施設が必要である。

⑥ 中央卸売市場の分荷システム

A 商取引について

- a 小売人が中央卸売市場に仕入れ(買出し)に行くこととなるが、開設当初分の間その利便を図るため「仕入専用バス」の運行を計る必要がある。(運営者, 発着場所, 時刻等運行計画が必要)
- b 卸売業者が小売人から注文を受ける方式
- ア 卸売業者が電話で注文を受ける場合公設小売市場の小売店に電話がなく, 増設の場所がない。
- イ 卸売業者の店員が注文を聴いて回るとすれば, 販売ピーク時を避ける等時刻の調整が必要。
- ウ 小売人が注文する場合共同仕入れ又は日別荷引数量を何日間かを纏めて注文する方式を検討する必要がある。
- c 卸売業者と小売人の取引方式を指導して, 納品書, 請求書, 領収証などの計算伝票を統一する必要がある。取引相互間の決済サイドの取きめの必要性を検討する。
- d 卸売業者と小売人の相対取引が基本的価格形成手段となるが需給均衡価格形成の対策として諸問題の研究が必要である。
- e 生産者又は生産者団体が出荷し, 卸売業者が荷受けした出荷品目に対する代金は可及的速かに支払わせるために中央卸売市場長の指導監督措置が必要である。この場合, 荷受け, 精算伝票等の証票を統一することを検討する。

B 物的流通について

- a 中央卸売市場の場内に大型冷蔵施設を設ける必要がある。
- 主として輸入果実等の入荷と販売の調整を図るが, 実験研究を重ねて国内産食品や加工食品の区分別冷蔵を行うものとし, 冷蔵委託者から徴収する料金をきめる必要がある。
- b 中央卸売市場から公設小売市場への食品の配送手段について
- ア 運送手段(トラック)を卸売業者が所有するか又は委託して配達するか。

イ 公営又は指定運送業者に配達させるか（一定時間に集中する可能性あり）

ウ 公営、自営共に非能率でアイドルレバーが大きいものと考えられる。

c 中央卸売市場の卸売業者と公設小売市場の小売人の仲介業として仲卸業の生成する可能性があるので検討して制度化を考えておく必要がある。

d 物的流通を円滑にするための諸設備が必要である。

ア 配送用トラック

イ 積卸し用フォークリフト（中央卸売市場と公設小売市場の両所に必要）

ウ 通い容器の設備 ー卸売業者の設備とすれば広告代用となるー 公設の場合は配置と管理運営を厳重にしても紛失数量が多くなる。

C 配送荷物の事故保障制度の検討

a 中央卸売市場の卸売場での仕入商品の紛失損耗事故の処理方式の確立とその保障

b 中央卸売市場から公設小売市場への配送途中の交通事故及び紛失盗難事故の処理と保障

c 公設小売市場での配列前の紛失損耗事故の処理方式の確立とその保障

⑦ その他の事項

a 中央卸売市場及び公設小売市場の業務管理規程

b 中央卸売市場及び公設小売市場の衛生管理規定 ーゴミ処理責任の問題

c 中央卸売市場及び公設小売市場周辺の交通整理と保安上の問題

(2) 中央卸売市場の建築の拡大計画について

中央卸売市場の敷地内の第5及び第6ブロックの建築は新設卸売市場の業務が開始されて、新設市場機能が発揮されることにより、必要となる流通上の諸問題を勘案して緊要となった施設を収容するために適応した建物として建設することが適切であろう。

したがって、卸売市場の運営に絶対必要な施設が決定するまで着工を延期することが必要である。

(3) 地区公設小売市場の再編整備

① アスンシオン市における消費者購買行動調査を実施すること。

a この調査は住民の住居地、生活階層別に食品の品目別購買慣習を調査する。買求める市場又は店舗との関連を調査分析して、公設小売市場と消費者の購買行動を明らかにするものとする。

b この調査結果を検討し、これを総合的に判断して地区公設小売市場の経営形態、収容

する小売店の数、取扱い商品の種類など公設小売市場の再編整備の基礎資料とする。

② 第1次整備は休眠中の第6，第7市場を改装整備する。

- a 第6，第7市場については市場機能を発揮するために必要な諸設備を行い，他市場のモデルとする。（給排水設備，電気ガス設備，構内舗装，売場設備，冷蔵設備等が必要である）
- b この場合売場の配置は凡そ半分をスーパー方式による雑貨，化粧品，輸入食品等を配列する。
- c スーパー化された売場を除く部分を食品売場とし，衛生的諸設備を完備して，清潔な売場とし，青果物と食肉売場を均衡のとれた配分とする。
- d 食肉売場は各小売店ともすべて低温ショーケースを設備して食肉を衛生的に配列する。さらに食肉の共同保管のため共同冷蔵施設を設けて管理することを義務付ける。

③ 第6，第7市場に入居する小売店舗の決定

第4市場及び周辺の小売人から希望者を選定して第6，第7市場に入居する店舗を決定し，その配置をきめる。

④ 第4市場の整備

第4市場及び周辺で営業する小売人のうちから第6，第7市場に転出させることにより，第4市場の小売人を減少させて後，第4市場を再編整備する。

⑤ 次の段階として，第6，第7市場の整備と実績をみて，これをモデルとしつつ，既存の第1，第2，第3，第5，第9の各地区公設小売市場を整備する。

⑥ 新設せんとするアスンシオン市周辺地域に及ぶ公設小売市場設置については，既存市場の整備が進む段階で検討して必要の地に設置すべきであろう。

(4) 中央卸売市場及び公設小売市場の管理運営の専門家の養成

① 中央卸売市場及び公設小売市場の管理運営と流通システム及びコンピューターのプログラマー及び制御の技術者，テレタイプ，テレックス送信技術者，統計の解析公表技術者などの養成が必要である。

② これらの技術者は日本から専門家を派遣しても養成困難であろう。アスンシオン市市場管理局の職員を毎回5人程度凡そ3－6ヵ月日本に留学させて実務的に訓練することにより養成する。

第5章 中央卸売市場への移転と市場の運営予算

1. 中央卸売市場への移転計画

(1) 市場管理課の移転計画

アスンシオン市当局では管理棟を4月中に完成し、直ちに管理部門の一部を移転し、その他の建物を促進し、7月末までに全て完工させる計画である。アスンシオン市当局の現在の計画では1カ月程度の猶予をみて入場する各業者はその内装を進めさせることにより8月15日の市制施行記念日に開場したい意向の模様である。

(2) 卸売業者の移転計画

アスンシオン市当局では7月末に建物及び道路等を全て完工し、直ちに卸売業者に割り当てた卸売場の内装を行わせ入場準備を行い8月中に開場の計画である。このため、アスンシオン市当局は既に卸売業者に対し1～2回の説明を行っており、大手卸売業者は移転入場を了承しており、中小卸売業者は止むなく了承している模様である。

(3) 卸売業者の配置計画

現在卸売業者は197業者であり、原則として全部を卸売市場に収容する考えで交渉を進めており、大手卸売業者は第1・第4ブロックの内側に広い売場をきめて配置し、中小卸売業者は第1・第4ブロックの売場の前側に売場面積をきめて配置するが、過小業者は第3ブロックに生産者と共に売場の広さをきめないで使用することにしている（立売市場とする模様）。配置計画は卸売業者の希望と市場卸売場の仕切り関係を調整してはば入場する業者別の配置を決定している。

アスンシオン市当局では、当初計画した卸売業者は青果物の卸売業者197社を対象としていたが中央卸売市場の建設が進むにつれてバナナ加工業者やバラグアイ全国農協連合会及び鶏卵・食肉加工・大豆などの穀類業者からの入場希望があり、これらの売場配分は決定していないが予定売場をさらに拡大する必要が生じている。

個別卸売業者の配置は現在のところ未発表になっている。

(4) 移転に伴うその他の計画

アスンシオン市当局は周辺を整備することを考えていないがしかし卸売業者の中には集荷選別所を近くに作る考えをもっている業者もいる。中央卸売市場の開設と関連して交通事情が変化するので、バス等の交通路線の変更などにつき、バス会社等と交渉中であり、バスターミナルなどの設置につき作業を進めている。アスンシオン市当局では移転時点で

のトラック業者の運行調整の必要を考えていない。

アスンシオン市当局は中央卸売市場の売場と小売業者の小売市場と分離されることから仕入や配送を心配している業者が多く、卸売業者にとってはその営業に不安があることから市当局は、業者との話合を進めており、さらにバスを連ねて卸売業者を引率視察を実施しており、ブラジルなどの諸都市の卸売市場の現地視察を実施している。

2. 中央卸売市場の建設と運営予算

アスンシオン市における財政はパラグアイ共和国からの国庫支出金も交付金もなく、アスンシオン市の財政で独自の財源により賄う必要がある。この法制は法令709号により制度化されており、地方税法に定める税制はアスンシオン市のみに適用される法制となっている。

アスンシオン市財政当局は中央卸売市場の建設を進めるための投資勘定と経常収支の年次別予算計画を確定し、その経理事務担当の責任部処をきめ、会計責任者を設置しているがその財源はすべて中央卸売市場の使用料収入に依存するものである。

中央卸売市場の予算計画は、①経常収支予算計画、②特別会計投資勘定、③資金計画、④借款等償還計画になっており、その概要は5-表11～5-表13に示すとおりである。中央卸売市場が建設過程であり現状では工事費等の投資勘定の予算措置で進められており、この予算執行で完成する考えである。

(1) 経常収支予算編成

① 収入予算

中央卸売市場の平年度の運営に要費する経常収支の予算計画は編成されているが収入は卸売業者が入場して市場使用料収入が確保されることが前提であり、その準備体制としては完璧である。収支予算計画は1981年7月開場を目途として編成されているが開場が遅延する場合は結果的に修正されることとなろう。市場使用料は主として卸売場の使用料収入を見込んでおり、1平方メートル当たり1日20グラニーを予定しており、1カ月につき1平方メートル当たり600グラニーであるから年間7,200グラニーとなる。（しかし、現在のところ卸売業者に公表していない。）若干高額と考えられるがアスンシオン市の財政事情からみると止む得ないものとみられる。現在でも卸売業者は借家で営業するものが多く、1平方メートル10～20グラニーを支払っておりその負担は若干増加するものとみられる。食堂などの付属商の使用料は入札方法で業者をきめる考えであり料金の基準は定めていない。

平年度の収入予算額を67,262,400グアラニーと見積っており使用させる売場面積を9342平方メートルと見込んでいる。

(2) 支出予算

中央卸売市場の平年度の経営に要する運営費に対しては、アスンシオン市財政は負担しないことになっている。したがって人件費・市場維持管理費・光熱水料などの支出はもちろん市場使用料収入をもってまわされる計画である(5-表11)。経常支出額は25,815,000グアラニーと見込んでいるがそのうち、人件費13,455,000グアラニー、水熱水道費9,360,000グアラニー、維持管理費3,000,000グアラニーとしている。中央卸売市場の職員数を37人としているので年間1人当たり人件費は凡そ36万グアラニーとなる。(月給3万グアラニーは凡そ5万円である。)

(3) 経常収支剰余と借款の償還等

アスンシオン市当局の財政としては世銀借款の返済金はすべて市場使用料収入を原資として充当する計画である(5-表12)。経常収支の差引額を41,000万グアラニーと見込んでおり、この額から世銀借款等の償還資金年額1,500~2,000万グアラニーが充当される。この償還は1996年まで継続されることになっている。この償還資金の支出で残額がある場合は地区小売市場(公設小売市場)の改築に充当する考えである。

(2) 投資勘定

中央卸売市場建設に要する投資勘定は1980年5,116万グアラニー、1981年2億2,904万グアラニー、1982年353万グアラニー、予定しており、総額で2億8,373万グアラニーが投資される計画である。このうち中央卸売市場の舎屋建築費が1億6,107万グアラニーである。

(3) 資金計画

中央卸売市場建設に投資される2億8,373万グアラニー(日本円にして凡そ4億8,280万円)のうち、1億5,152万グアラニー(凡そ53.4%)を世銀借款で充当し、残りの1億3,221万グアラニーがアスンシオン市財政資金から支出される計画である(5-表13)。

世銀融資の計算は1ドル=126グアラニーであるから換算すると1億3,318万グアラニーとなるが実質レートは1ドル=133~145グアラニーとなり、実質1億5,100万グアラニーで実効される。パラグアイ中央銀行は預金に対し、0.75%のコミッション(預り料)を徴収するが投資勘定の計算ではこれを減額せず支出金に計上したので計数的に若干の差異が生ずる。

5-1表 111 中央卸売市場経常収支予算計画

(単位 グアラニー)

年次 勘定科目	1980	1981	1982	1983	1984	1985	備 考
1. 市場使用料	(収入の部) 0	3,363,1200	67,262,400	67,262,400	67,262,400	67,262,400	付属商の負担を含む
2. 市場運営費(計)	(支出の部) 4,792,300	16,806,345	25,815,000	25,815,000	25,815,000	25,815,000	
(内訳)							
人件費	4,792,300	10,626,345	13,455,000	13,455,000	13,455,000	13,455,000	
光熱費	-	4,320,000	8,640,000	8,640,000	8,640,000	8,640,000	
水料費	-	360,000	720,000	720,000	720,000	720,000	
維持管理費	-	900,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	
予備費	-	600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
3 収支差引額	△4,792,300	16,824,855	41,447,400	41,447,100	41,447,400	41,447,400	経常収支剰余
4 投資勘定総括	51,160,493	229,039,855	3,528,000	-	-	-	投資総額 283,728,348
(内訳)							(勘定科目計)
計画作成費	7,500,000	0	0	-	-	-	7,500,000
起算費	14,771,817	146,298,863	0	-	-	-	161,070,680
舗装費	9,795,768	6,220,4232	0	-	-	-	7,200,000
工事検査費	2,000,000	4,250,000	0	-	-	-	6,250,000
技術料	17,092,908	16,286,760	3,528,000	-	-	-	36,907,668
5 事業費総額	55,952,793	245,846,200	29,343,000	25,815,000	25,815,000	25,815,000	経常支出+投資勘定

5-表12 世銀借款等返済計画

年次	世銀借款（元金133,229,876グラニー）			アスンシオン財政 資金（元金返済）
	元金償還	利息支払	計	
1980	0	—	—	—
1981	0	4,996,120	4,996,120	1,198,134
1982	0	9,992,240	9,992,240	1,142,190
1983	5,124,226	9,992,240	15,116,466	1,086,246
1984	10,248,452	9,415,766	19,664,218	1,030,302
1985	10,248,452	8,647,132	18,895,584	974,358
1986	10,248,452	7,878,498	18,126,950	—
1987	10,248,452	7,109,864	17,358,316	—
1988	10,248,452	6,341,230	16,589,682	—
1989	10,248,452	5,572,596	15,821,048	—
1990	10,248,452	4,803,962	15,052,414	—
1991	10,248,452	4,035,328	14,283,780	—
1992	10,248,452	3,266,694	13,515,146	—
1993	10,248,452	2,498,060	12,746,512	—
1994	10,248,452	1,729,427	11,977,879	—
1995	10,248,452	960,793	11,209,245	—
1996	5,124,226	192,159	5,316,385	—
計	133,229,876	87,432,109	220,661,985	5,431,230

5一表 13 中央卸売市場資金計画

(単位 グアラニー)

勘定科目	年次	1980	1981	1982	1983	1984	1985	累計額 (参考)
(資金の調達)								
1 市場使用料		0	33,631,200	67,262,400	87,262,400	67,262,400	67,262,400	302,680,800
2 アスンシオン財政資金 (内訳)		18,068,701	108,710,749	0	-	-	-	126,779,450
計画作成費		20,687,770	0	0	-	-	-	20,687,770
建築資金		6,204,163	46,506,517	0	-	-	-	52,710,680
舗装資金		9,795,768	62,204,232	0	-	-	-	72,000,000
3 アスンシオン財政資金借入 (計画作成費)		5,131,230	0	0	-	-	-	5,431,230
4 世銀借入 (起債目的)		27,660,562	120,329,106	3,528,000	-	-	-	151,517,668
建築資金		8,567,654	99,792,316	0	-	-	-	108,360,000
工事検査資金		2,000,000	1,250,000	0	-	-	-	6,250,000
技術料資金		17,092,908	16,286,760	3,528,000	-	-	-	36,970,668
合計		51,160,493	262,671,055	70,790,100	52,262,400	67,262,400	67,262,400	151,517,668
(資金の運用)								
1 市場運営支出		3,792,300	16,806,345	25,815,000	25,815,000	25,815,000	25,815,000	124,858,645
2 市場建設投資		51,160,493	229,039,855	3,528,000	-	-	-	283,728,348
3 アスンシオン市政資金 返済(元金)		0	1,198,134	1,142,190	1,086,246	1,030,302	974,358	5,431,230
4 世銀借款返済 元金返済		1,651	5,236,698	999,2240	15,116,466	19,664,218	18,895,584	68,906,857
利息支払		0	0	0	5,124,226	10,248,452	10,248,152	25,621,130
コミッション		1,651	24,0578	0	9,992,240	9,415,766	8,647,132	43,043,498
合計		55,951,441	252,281,032	40,477,430	42,017,712	46,509,520	45,684,942	482,925,080
バランス		△ 4,793,951	10,390,023	30,312,970	25,244,688	20,752,880	21,577,458	

世銀借款のうち
技術料資金は技
術協力費として、
無償分
18,287,792
を含む、差引純
借入分
133,239,876
とする。
1ドル=126
グアラニーの計
算である。

第6章 日本政府の技術協力についてのアスンシオン市当局と 調査団の意見交換

1. 技術協力の必要性

(1) 中央卸売市場の開設・営業の開始に対する技術協力

① 卸売価格の形成に対する技術協力

中央卸売市場の業務の中核業務は「卸売価格の形成」である。卸売価格は当分卸売業者がそれぞれの経験によって「相対取引」できまるとであろう。しかしながら、パラグアイ共和国における唯一の卸売市場であることとブラジルの「セアザ」市場やアルゼンチンの「アバスト」市場の価格形成の影響を受ける状態にある。それはアスンシオン市場が高価格となれば隣接する両国の市場から青果物が流入し、低価格であれば両国に流出することとなる。

そこでアスンシオン相場形成は南米における食品価格に至大の影響を与えるとみななければならない。そのためには、適切な需給均衡価格の形成を指導することが重要な課題となる。需給均衡価格を形成するためには毎日の品目別入荷量を把握し、その量的変化の傾向値と卸売価格の傾向値の相関性を分析して適切な「建値」を策定して公表することが必要となる。この技術指導を主体的な任務とした卸売市場専門家の派遣による技術協力が必要である。

② 市場入荷量の完全把握と標準建値の決定

中央卸売市場の機能を十分に発揮させるためには、市場入荷量を完全に把握する必要がある。市場入荷量の把握はアスンシオン市では卸売市場の開設によって初めて行なわれることであり、最初から完全な方法はないが「セアザ方式」では市場に持込む時間をきめておき、市場公社の職員が正門で検問する方法を採用している。検問事項は荷主名・販売を委託する卸売業者名・品名別持込（入場）数量である。品質等等級区分は検問できないようである。

これは卸売業者または生産者団体（集荷人）からの申告制度とする方法もあるが、アスンシオンの中央卸売市場の場合には検問方式となろう。この場合荷姿と1個の重量が不統一であるからこれを統一してから統計方法をプログラムに入力する必要がある。そのための設備としては少なくともマイクロコンピュータ2台は必要であり、その技術指導を行う専門家の派遣が必要である。

卸売市場への品目別入荷量を調査し、これを品目別に合計して、当日の品目別入荷量が統計されると直ちに別に定める「価格形成委員会」を開いて当日の「標準建値」を策定する必要がある。（この委員会は卸売市場管理課と選ばれた主要卸売業者で構成することになる。）開設当初はこの作業はきわめて困難であるが、毎日の入荷量と価格形成の相関分析ができるときわめて適切な「標準建値」を形成する能力が養成されることとなる。

③ 卸売業者の荷さばき指導

大多数の卸売業者は第4メルカードの近辺に位置して営業を行ってきたため、小売人が必要なだけ購入していくという店舗方式による卸売業者の営業であり、「安価売り」的な商法であったが、卸売市場方式では卸売業者が軒を並べ競争場裡で卸売することとなる。しかも得意先方式から順次中央卸売市場の卸売業務担当店舗へと衣替えされて行くこととなる。かくて卸売業務としての「荷さばき」業務を担当する部処となり公共的使命を担うこととなり、その任務を遂行するための指導協力が生じるであろう。

(2) 公設小売市場再建整備に対する技術協力

中央卸売市場の建設による新流通システムの確立に当っては地区市場（公設小売市場）の再建整備が必要であり、現在第4地区市場に集中する客足を他の地区市場に分散させることにより、第4市場に集中する小売人を各市場に配分させる必要がある。そのためにはどの市場も同じ小売価格となることが先行しなければならない。それでも設備のよいところで品揃えのよい市場に客足が運ばれるであろう。そこで消費者動向調査を実施して、調査結果の解析を行ない地区ごとに特色のある市場を建設する必要がある。このためには統計調査と地区市場整備の技術協力が必要である。

さらに、地区市場ごとの小売価格を均衡させることにより、消費者の利便を図り、各地区市場を同じように発展させるために流通情報を充実させ普及させることが必要である。そのためにも中央卸売市場を中樞点とするテレファックス装置を配置する必要があると考えられる。

(3) 生産者及び生産者団体の育成指導

パラグアイ共和国では、産地から集荷商人が集荷するものと生産者及び生産者団体が卸売業者と特約して出荷するものがあるが、現状では生産者に商品としての自覚がなく、生産物の調整・選別・荷造り包装が不揃いであり、これを卸売業者が行っている状況である。

中央卸売市場が開場され一物一価の原則が貫かれ公平に価格が形成されるためには、生産者の自覚により産地での選別・荷造り・包装が必要である。この指導誘引を行うため、中央卸売市場に所要な選別・仕分け・包装などの設備を備えこれを展示効果として生産者の指導を行う必要があり、選別包装などの機械作業を行うための指導協力が必要である。

2. 日本政府の技術協力の基本構想に関するアスンシオン市当局と調査団との意見交換

今回の調査団は1980年3月日本政府が派遣した調査団に対するパラグアイ国アスンシオン市当局の日本政府への要請に対し、日本政府の検討結果につき「日本政府の技術協力の基本構想」（巻末の参考書類1を参照のこと）として取りまとめられた文章を携行し、アスンシオン市当局に対して説明し日本政府の可能な技術協力につき打合せを行うことを目的としている。

(1) 日本政府が協力可能と考えている基本構想に対する反応

今回の調査団が携行した基本構想は新設される中央卸売市場を中核とする新流通システムを開発し、運営するための諸制度と新流通システムの運営についての商流・物流に対する技術協力のために専門家を長期に派遣することを考えており、中央卸売市場が建設の目的に即応した卸売機能を発揮するために必要とする資機材の可能な範囲での無償供与を行なうものである。このことにつき調査団はアスンシオン市当局に対し詳細に説明した。

調査団の基本構想の提示と説明に対してアスンシオン市当局は全面的に援助が得られると期待していたが日本政府が協力可能な範囲を限定するようであるので、アスンシオン市としては中央卸売市場の完成とその機能の発揮のための努力をすることを述べた。さらに、アスンシオン市当局は地区市場（公設小売市場）の再建整備はアスンシオン市としては避けて通れない重要課題であり、アスンシオン市の財政負担において順次再建するための計画を樹てることを考えていると述べた。

(2) アスンシオン市当局が日本政府に期待している事項

① 長期専門家の派遣について

基本構想として示されている長期専門家の派遣についてはアスンシオン市当局は多大な期待を持って受け入れることを確約し、カウンターパートについては通常半日勤務者の多いパラグアイ共和国の勤務体制にかかわらず午前7時から午後3時までの勤務とし要求に応じて人員を補充することを回答した。

② 供与を要請する資機材について

パラグアイ共和国の場合、生産者団体の組織化が進んでいない。そのため、アスンシオン市当局は本来生産者団体が行うべき生産出荷選別荷造りなどについても中央卸売市場の任務として展示効果を考えた資機材の供与を期待するほか、冷蔵施設等生産者団体の行うべき任務を含めて大型のものを設備してほしいとの要望を強張した。

日本政府は中央卸売市場の開場と長期専門家による市場運営の技術協力と関連して市場運営に必要な資機材を供与することになろうと考えられるので、その場合を想定し、アスンシオン市当局の希望と要請する機種及びその順位につき資料（巻末の付属書類6を参照のこと）の提出を求めて調査団と共に検討した。要請する機種は6－表14のとおりでありその順位はつぎのとおりである。

資機材の導入順位

- 第1 仕入用バス・配送用トラック
- 第2 掲示板・マイクロコンピュータ
- 第3 冷蔵室などの機械一切
- 第4 フォークリフト・ベルトコンベアー・コロコンベアー
- 第5 選別機・場内放送施設
- 第6 中型電子計算機

③ アスンシオン市市場職員の養成訓練について

アスンシオン市の市場職員はすべて新任であり、専門的知識を有していないので日本で養成訓練してほしいとの要望があり、これに対し協議の結果、日本側で持ち帰って検討することとなった。要請する職種はつぎのとおりである。

- i) 市場運営 4人程度 日本で2人3ヶ月養成 2回
- ii) 機械処理 4人程度 日本で2人3ヶ月養成 2回
- iii) 統計情報 2人程度 日本で2人6ヶ月養成 1回

6-14表 アスンシオン市当局が技術協力として要請する機種

資 機 材 名	数 量
1. 自動車関係車輛	
(1) 中央卸売市場から公設小売市場への「配送用トラック」 12～15 ton	10台
(2) 公設小売市場の小売人が中央卸売市場に仕入れに行くための「仕入専用バス」	6台
2. コミュニケーション関係	
(1) 中央卸売市場大型電気掲示板	1台
(2) 中央卸売市場と公設小売市場流通用テレノクス	5台
(又はテレファックス)	11台
(3) 市場管理室用マイクロコンピュータ	2台
(4) 市場管理室用中型電子計算機	1組
(5) 場内放送施設(放送施設本体)	1組
付属用機器マイク スピーカー等	10個
(6) 管理制御用有線テレビ施設本機 収録テレビ15ヶ所 中央制御装置・配電板	1組
3. 冷蔵施設等	
(1) 大型冷蔵庫(バレイショ・玉ネギ・トマト等) 1,000 m ³	1所
(2) 停電時の対策として自家発電機 KW	1機
(3) 小型冷蔵庫(リンゴ、ナシなど果実用) 100 m ³	5室
(4) バナナ加工用ムロ 70 m ³	4室
4. 選別洗滌機	
(1) 動力式大型形状選果機(オレンジ、トマト用)	1台
(2) 動力式大型重量選果機(トマトなど)	1台
(3) 動力バネケージ(ビニール包装用自動パック)	
オレンジ・リンゴ・ナシ・バナナなど果実用	3台
トマト・ピーマン・キュウリなど野菜用	3台
(4) 動力式大型ワックス洗滌機	1台
ネーブル・オレンジ用のもの大型ワックス処理機	1台
(5) 動力水洗機	
バレイショ・玉ねぎ用のもの	3台
ニンジン・マンショ、カなど長根用のもの	1台
5. 運搬用機器等(中央卸売市場設備)	
(1) フォークリフト(300～500kg程度の積卸し)	4台
(2) ベルトコンベアー5連式 コロ付コンベアー	各2台
(3) ゴミ処理用トラック(ゴミ収集用自動車)	2台
6. 雑草除去用機器	
(1) 草刈用トラクタ・ヘーモア・ヘーレーキなど一式 30馬力程度のもの	1組
7. 公設小売市場設備	
(1) 牛肉販売用ショーケース(公設小売市場モデル展示用として 3～5台とすべきもの)	62台
(2) 15kg程度のデジタル計量機	60台
(公設小売市場モデル展示用として5kgまでの小型のもの 3～5台 とすべきもの(重量×単価＝売価係数)が電気表示となるもので、日本で肉類販売に最も多く使用されているもの)	

(3) アスンシオン市当局の基本構想の受入体制

アスンシオン市当局は日本政府の技術協力に対し多大な期待を持っており、市長以下各部処において受入体制の準備を進めている。特に中央卸売市場の管理体制を確立し、職員数を平年度37名とする管理機構を確定しており、現在12名が発令済である。このほか地区市場に62名の職員を配しており、それぞれの部処の事務を担当している。日本側で要求した長期専門家のアシスタントとなるカウンターパートについても適任者を配置して毎日午前7時から午後3時までの執務体制を考えている。

この準備体制とアスンシオン市当局のこのプロジェクトにかける熱意と期待はその活動状況からみて推察できる。この中央卸売市場問題の重要性はパラグアイ政府の各省においても確認される。

(4) 基本構想の妥当性

日本側で提示した基本構想については中央卸売市場の諸制度の制定をはじめ、長期専門家の受入資機材の供与・市場職員の養成訓練など全般的におおむね妥当性があるが、考え方に若干差異がある。これは技術協力を進めながらパラグアイ共和国の実態に即応させることが必要のようである。若干の差異を摘録するとつぎのとおりである。

- ① 中央卸売市場の役割と守備範囲について日本側からみると野菜・果実の生産出荷のための商品の調整・選別・格付・包装・荷造りなどは生産者及び生産者団体を指導して行なわせるべきであると考えていたが、パラグアイ共和国では、生産者及び生産者団体の未発達と無理解もあって指導奨励と展示効果のためにこれらの業務を中央卸売市場の任務としたい意向がきわめて強い。
- ② 冷蔵設備（冷蔵庫及び保冷施設）についても生産者団体に出荷調整機能がなく、物価安定対策のうえからみて、大型の冷蔵室を主張し、温度差を設けて冷蔵するために中型のものを何室かを設けたい意向であって日本側の調査団の考えていたものより拡充する必要があることを力説した。この冷蔵設備が生産者及び消費者の利益となるとの意見である。
- ③ 資機材の設備において日本側では価格安定対策と各地区市場（公設小売市場）の小売価格を平準化させるための流通情報機能として「テレックス」を設備することを考えているがこの国の電信技術の未発達のため専用電信線の敷設と使用料を要する事情があり電話に取り付ける「テレファックス」に変更することが適切のようである。
- ④ 野菜・果実の物流過程では、日本側では中央卸売市場から公設小売市場の小売人に配

送する場合の「通い容器」を考慮していたが、アスンシオン市当局では生産者が中央卸売市場に出荷するさいの容器の「通い容器」として設備することを主張したのでこれは供与機材の考慮外として検討すべき事項と考えられる。

- ⑤ 日本側の考えでは、新設される中央卸売市場の卸売機能を発揮することに力点があり、新流通システムは、物流と商流の抜本改革になると考えているが、アスンシオン市当局の考えは中央卸売市場と公設小売市場の一体的運営を考えており、資機材供与の面でも「仕入バス」と「配送用トラック」を強く要望している。

5) 基本構想にもとづく技術協力の進め方についての打合事項

日本側では、今回の任務が終了するとともに基本構想にもとづく技術協力の実施協議のためのミッションを派遣し、さらにこのミッションの実施協議にもとづき長期専門家を派遣する予定である。長期専門家の着任とともに中央卸売市場の運営に必要な資機材を順次導入することとなるものと考えられるので、パラグアイ側においてその日程と手順により、このプロジェクトの完遂に努力するよう期待するなどにつき申し合せた。

3. アスンシオン市食品市場改善計画推進に対する提言

今回のパラグアイ共和国アスンシオン市食品市場改善計画調査団は団長多田誠により帰国後日本政府に対してつぎのような提言を行っている。

- ① このプロジェクトはアスンシオン市当局の熱意と努力によって急速に進められている。
1980年9月頃迄は工事の進展がなかったが、10月工事着手とともに急ピッチで進み1981年7月を目途に完成を急いでいる。
- ② アスンシオン市当局が工事を急いだ理由の一つとして8月15日が同市の市制施行記念日にあたることもあって、この祝日に記念して中央卸売市場を開場したいと計画していることによるものであろう。
- ③ パラグアイ共和国にとってアスンシオン市中央卸売市場が重要な一大事業であり、しかも達成可能であり、成功の間違いない確実な事業であるとともに、この事業ほどアスンシオン市の市長以下市民が待望している事業はないであろう
- ④ アスンシオン市当局はこの事業を日本政府の指導協力で完成したいと考えており、その運営については実際のところあまり自信をもっていないのが実情である。しかも中央卸売市場の舎屋建設資金として困難な財政事情の中で1億3,000万グアラニーの財政資金を投入して市場の改善を図らんとしていることは高く評価されるべきである。

- ⑤ アスンシオン市長はレセプションのさい、「日本の方々はアスンシオン財政状態を御存知ですか。きわめて乏しい税収の中でこの事業を進めることは至難であるが二回にわたる調査団のパラグアイ共和国来日により、その勇気を倍加して目的を達成する自信をもった」と述べた。調査団はアスンシオン市当局の熱意と努力を感じ、協力のやり甲斐のあることを痛感した。
- ⑥ アスンシオン市の財政は日本政府の協力を期待し、その可能な財政資金を舎屋建築と場内舗装に投入し、卸売市場の内装を卸売業者に負担させる状況であり、市場運営に必要な資機材は何一つ準備していない。
- ⑦ 日本では全国に100か所の中央卸売市場を開設しており、地方卸売市場も数多く建設している。卸売市場の建設と運営については多くの知識と経験を有しており、アスンシオン市中央卸売市場の開設と市場流通システムによる食品市場改善に対し協力できるだけの能力をもっていると考えている。
- ⑧ アスンシオン市中央卸売市場の開設と市場流通改善にあたり最も重要なことは「市場の開場」と「新しい流通システム」への移行にあたり混乱することなく円滑に移行させることである。アスンシオン市当局は日本政府の技術協力を信じて強力に建設を進めている。そこで日本政府としては技術協力を急ぐ必要がある。そのため専門家の派遣が必要である。
- ⑨ 中央卸売市場の開設を円河に進めるには、公設小売市場（小売業者）と新設中央卸売市場の距離が遠くなるため、「仕入バス」と「配送トラック」の設備を先行させる必要があるが、パラグアイでは日本政府が中央卸売市場を建設してくれると考えており新聞報道も盛に行なわれているので先ず目に見える資機材を提供することが必要であると考えられる。
- ⑩ 中央卸売市場をその本来の機能を発揮させるための資機材はきわめて多いが、これを予算の可能な範囲で技術協力が推進されるように提言するとともに6-表15、6-表16のごとく年次別技術協力の進め方・年次別資機材供与のあり方について提案する。

6-表15 アスンシオン市食品市場改善

	中央卸売市場の動き	技術
1981年 7月	中央卸売市場倉庫と舗装が完成する	(①7月上旬)
8月	8月15日 開所式挙行 卸売業者内装事務所開設、移転準備 付属商店舗設定	(②8月上旬 8月中旬 下旬)
9月	9月1日より営業開始	
10月	10月1日 中央卸売市場本格的営業開始 10月中に 第4メルカード周辺卸売場撤収 10月1日より 市場使用料徴収	10月1日より 10月10日
12月	(中央卸売市場会計において7～9月の3カ月分の 市場使用料徴収欠陥を生ずる)	
1982年 1月	1月 場内に標準建値委員会を設置	1月10日より
2月	2月～ 毎週標準建値研究会	2月
3月	3月1日～ 標準建値発表を始める	3月1日
1982年 4月	入荷量と標準建値本格的発表	4月1日
	4月中旬から入荷量、標準建値をマイクロコンピュ ーターで計算開始	(③4月上旬)
5月	テレファックス取付試行	短期専門家による
6月	テレファックスによる流通情報開始	
8月	フォークリフト設備 ベルトコンベアー 3台設備 コロコンベアー 2台設備	8月 第2次機材設 運営責任者選
1983年 4月	動力形状選果機取付	第3次資機材運転指 導責任者、保守義
5月	動力パッケージ取付(果実・野菜用) 動力式大型ワックス洗滌機取付 動力水洗機取付(土物、長根用) 小型冷蔵庫設備	
1984年 4月	ゴミ処理用トラック設備	第4次資機材取付運 転
7月	テレックス 1台設備 中型電子計算機設備 大型冷蔵庫設備 1,000m ³ 設備 停電用自家発電機設備	(④電子計算機運営指 導)
1985年 4月	草刈用トラクター(ヘーモアーヘーレーキ)設備	第5次資機材取付運 転責任者選任指導
7月	管理制御用有線テレビ(本材及収録テレビ)設備 牛肉販売用ショーケース 62台 設備 デジタル計量機 60台 " バナナ加工用ムロ 70m ³ 4室 "	⑤有線テレビ運営技

計画技術協力実施計画スケジュール(案)

協力の進め方	資機材の供与と職員の養成
実施協議の調査団派遣)	(①7月中旬 第1次資機材の発注) (7月下旬 同機材発送手続き完了)
長期専門家の派遣) 移転指導協力	(②7月～市場職員日本で研修 2人) (9月中旬頃迄にバス、トラック到着) 9月下旬迄に運行計画、試運転実施 10月1日より 仕入バス運行 " 配送トラック運行 11月中旬に場内放送設備
標準建値策定指導 " 標準建値揭示場に表示	仕入バス運行と配送トラックの適正運行の検討
入荷量と標準建値の本格的 指導	(③4月上旬 マイクロコンピュータ発注) (マイクロコンピュータ2台短期専門家に持参させて、取付、 操作指導を行う。)
短期専門家派遣 2人)	(④4月下旬 テレファックス10台回送装置1台発注) (4月下旬 テレファックス発送) (⑤4月～9 統計情報職員研修 2人) コンピュータ、テレファックス研修
るテレファックスの指導 協力	第2次資機材供与 (⑥6月1日 フークリフト、ベルトコンベアー、コロコンベアー 発注) (6月10日 同上発送) (⑦7月～ 市場職員日本で研修 2人) 8月上旬 第2次資機材到着 (⑧9月～ 動力機械運転研修 2人)
備指導協力 定、保守義務の指導	
導協力 務者設置指導	(⑨4月下旬 第3次資機材発注) (5月上旬 同上発送) (⑩電子計算機オペレーター 日本での養成) (テレックスオペレーター ")
転指導協力 運転、保守責任者選任指導 導短期専門家派遣	(⑪4月下旬 第4次資機材発注) (5月上旬 同上発送)
転指導協力 術者短期専門家派遣	(⑫4月下旬 第5次資機材発注) 5月上旬 同上発送

6-表16. アスンシオン市食品市場改善計画
(年次別順位)

年次	順位	供与すべき資機材の名称
1981年 (第1次)	1	仕入専用バス
	2	配送用トラック(12-15トン)
	3	電気表示機
	4	場内放送施設(本機付属品 マイク、スピーカー)
1982年 (第2次)	5	マイクロコンピュータ
	6	テレファックス送受信兼用 " 同送装置
	7	フォークリフト(300-500kg)
	8	ベルトコンベアー5連式(モーター付)
	9	コロコンベアー モーター付
	10	動力形状選果機(モーター付)
1983年 (第3次)	11	動力式ワックス洗滌機(モーター付)
	12	動力水洗機(土物用)
	13	" (長根用)
	14	動力パッケージ 果実用 モーター付
	15	" 野菜用 モーター付
	16	テレックス(海外流通情報収集用)
	17	小型冷蔵庫(100m³)
	18	ゴミ処理用トラック
1984年 (第4次)	19	中型電子計算機 本体 1台 300万円 (マスター 1台 600万円 ラインプリンター 1基 500万円 スレーブ 1 400 セン孔機 3 480 カードリーダー 1 250 検孔機 2 200 コンソール 1 100 計 2,830万円)
	20	大型冷蔵施設 1,000m³
	21	停電時自家発電機
1985年 (第5次)	22	草刈用トラクター(ヘーモカ、ヘーレーキ)
	23	管理制御用有線テレビ 本機 " 収録用テレビ 15
	24	バナナ加工用ムロ 20m³
	25	牛肉販売用ショーケース
	26	デジタル計量機(15kg)
	27	公設小売市場用フォークリフト(300-350kg)
		合 計

① この年次別表は1年に凡そ5,000万円を目途として配分したものである。
② したがって予算措置が可能の場合は早い年度で設備されることが理想的である。

資機材に関する技術協力実施計画スケジュール(案)
(は調査団)

数 量	推 定 単 価	必 要 と す る 予 算 額
6 台	200 万円	12,000千円
10	400	40,000
1	50	500
1 組	500	5,000
2 台	200	4,000
10	125	12,500
1	200	2,000
4	280	11,200
3	150	4,500
2	150	3,000
1 組	—	18,000
1 組	—	12,000
3 台	150	4,500
1	150	1,500
3	300	9,000
2	250	5,000
1	120	1,200
5 室	182	9,100
2 台	500	10,000
1 組	2,830	28,300
1 所	1,818	18,180
1	350	3,500
1 組	300	3,000
	1,500	15,000
4 室	200	8,000
62 台	10	6,200
60	15	9,000
6	200	12,000
		2億6千8,180千円

③ 技術協力実施計画の表には若干くい違いを生じている場合がある。

類書屬付

1. パラグアイ共和国アスンシオン市食品市場改善計画 に対する日本政府との協議覚書

(1) 日 本 語 文

1981年4月8日

1. 1980年3月コンタクトミッションに対するアスンシオン市当局の技術協力の要請事項は次の3点であった。

- (1) アスンシオン市当局に設置されている9ヶ所の地区小売市場（公設小売市場）と新設を計画している4～5ヶ所の地区市場を含めて再建整備を日本政府に要請する。
- (2) 世銀借款等により建設を進めている中央卸売市場を中心とする流通システムの確立と市場運営の技術協力及び中央卸売市場の卸売業者が機能するための機材の供与。
- (3) 中央卸売市場の倉庫の増築に対する日本政府の供款供与。

2. 1981年3月アスンシオン市食品市場改善計画に対する日本政府の技術協力の基本構想

- (1) 第2次調査団が携行してアスンシオン当局に説明した。
- (2) 日本政府の基本構想により技術協力が実施されることを要請し日本側に感謝し、長期専門家の技術協力を期待し、カウンターパートの提供などパラグアイ側が分担すべき任務につき人員を確保し全面的に協力することを約束した。

アスンシオン中央卸売市場整備計画技術協力基本構想（案）

I 要請の背景と目的

1. 背 景（経緯等）

アスンシオン市の第4市場周辺に卸売商人が群集し、同地域の交通麻痺、不衛生状態を生み出し、更に他の公設小売市場の正常な発展の障害となっているため、この改善を計るべく、パラグアイ政府の指導、監督のもと1972年同市の自主財源をもとに中央卸売市場の建設に着手したが工事半ばで資金難のため、1975年工事を中断するに至った。しかし、その後1980年7月に至り、世銀借款により工事は継続された。これに先立ち、パラグアイ政府は日本政府に対し、食品市場改善計画に関する調査要請を行なった。これを受け、国際協力事業団は、1980年3月要請の背景等の調査のため、事前調査団をパラグアイに派遣したが、引続き今後、協力内容、範囲等につき、協議調整を図るべく、計画打合せチームを派遣するものである。

2. 協力目的

アスンシオン市では、現在食品市場改善計画の一環として、中央卸売市場の建設を進めているが、従来の第4市場周辺の卸売商の混雑解消と環境改善に資するため、(1)中央卸売市場開設のための準備及び(2)開設後の中央卸売市場の円滑な管理運営を図ることを目的とする。

Ⅱ 協 力 概 要

1. プロジェクトの実施方法

アスンシオン市役所にプロジェクトセンターを置き中央卸売市場の開設及び運営・管理のための協力を次の2段階に分けて実施する。

- (1) 中央卸売市場開設前段階の開設準備のための協力
- (2) 中央卸売市場開設後の中央卸売市場の管理・運営のための協力

2. 協力内容

- (1) 開設準備のための協力
 - (㊦) 生産物供給、消費動向等の物流システムを調査し、流通計画を策定
 - (㊧) 中央卸売市場の制度並びに運営計画策定
 - (㊨) 中央卸売市場の運営に必要な資機材及び、中央と小売市場間の情報連絡、物流システムのために必要な資機材の導入計画策定
 - (㊩) 市場運営管理職員及び技術者の養成
 - (㊪) その他、アスンシオン市の卸売制度に関する法令化についてアドバイス
- (2) 開設後の運営のための協力
 - (㊦) 開設後の中央卸売市場と地区小売市場の物流及び消費者動向の調査
 - (㊧) 物流及び情報連絡システムの確立及び供与機材の有効活用の指導
 - (㊨) 市場管理職員及び技術者の現場訓練
 - (㊩) 中央卸売市場整備運営計画の再検討

Ⅲ 日本側が分担する事項

1. 専門家等

- (1) 長期専門家
 - (㊦) 流 通

- (f) 市場制度
- (g) 市場運営管理
- (2) 短期専門家
- (3) 業務調整員
- 2. 機材供与

中央卸売市場の運営に必要な資機材並びに中央卸売市場と小売市場間の情報連絡及び物流システムのために必要な資機材
- 3. 市場運営管理職員及び技術者の日本での研修

Ⅳ パラグアイ側が分担する事項

- 1. カウンターパートの配置
 - (1) プロジェクトディレクター
 - (2) 日本人専門家1名につき3名以上
 - (3) その他プロジェクト実施に必要な職員（事務職員、運転手他）
- 2. 中央卸売市場の建物、付帯施設の建設、整備（付帯施設は食堂、シャワー室、修理工場、ガソリンスタンドを含む）
- 3. 市場の移転並びに市場運営管理に係わる法令等の制定と施行
- 4. 市場運営管理に係わる予算措置

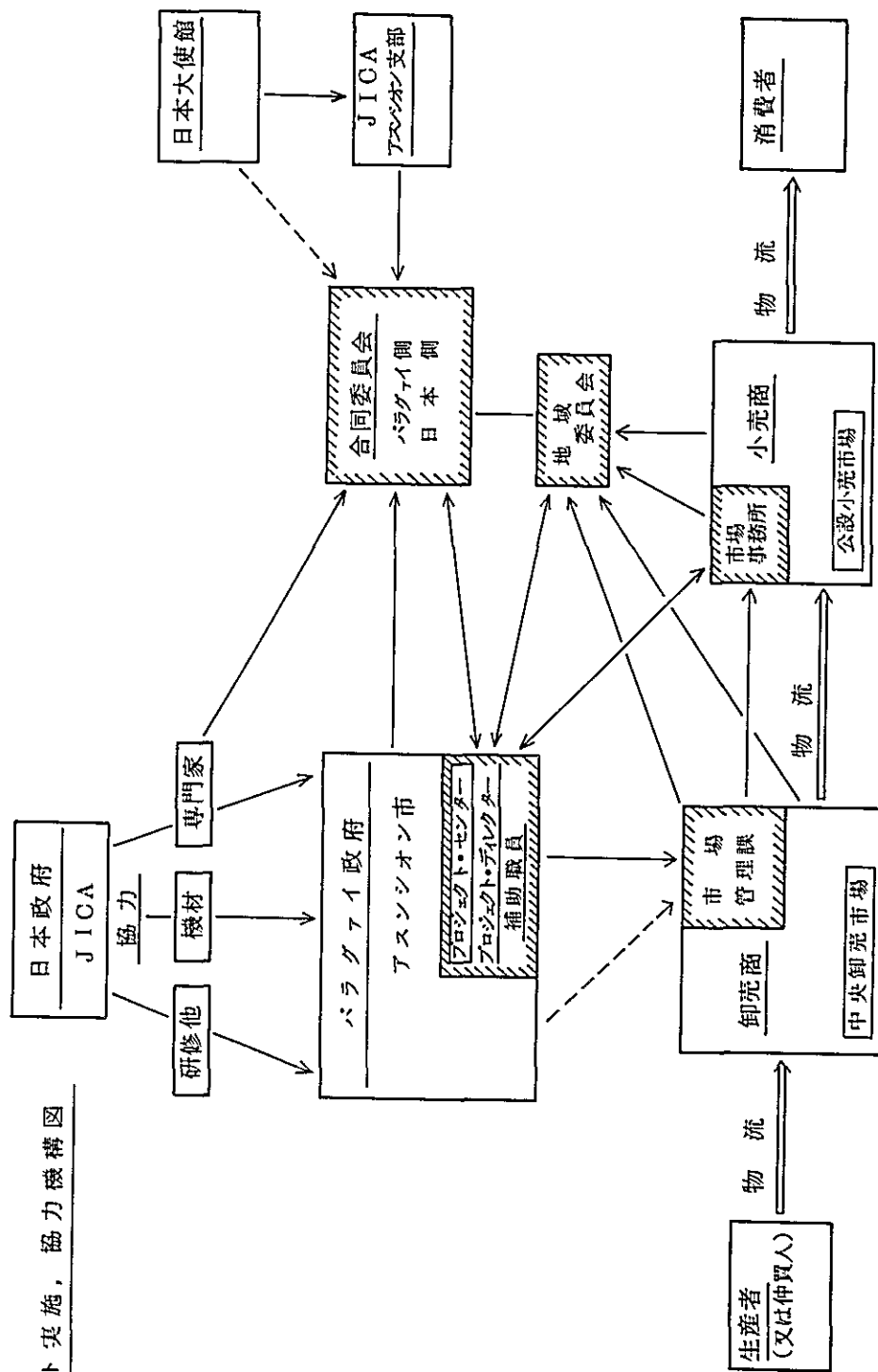
Ⅴ 合同委員会の構成

プロジェクト事業計画の策定、実施につき協議する。

- | | | |
|--------|---------------------|------------------|
| 1. 委員長 | アスンシオン市長 | |
| 2. 委員 | 日本側 | パラグアイ側 |
| | (1) 専門家団長 | (1) プロジェクトディレクター |
| | (2) 専門家団長が必要と認める専門家 | (2) 政府関係機関の代表 |
| | (3) JICA代表 | |

（備考） 在パラグアイ日本国大使館員はオブザーバーとして出席することができる。

プロジェクト実施，協力機構図



3. 日本政府はアスンシオン中央卸売市場の運営に関する基本的諸制度の制定につき助言するとともに法令の参考資料として次の4種の案（スペイン語によるもの）をアスンシオン市当局に手渡した。

- ① アスンシオン市中央卸売市場条例案
- ② アスンシオン市中央卸売市場施行規則案
- ③ アスンシオン市中央卸売市場業務規程案
- ④ アスンシオン市中央卸売市場受託販売契約約款案

4. 1981年3月28日～4月8日技術協力の実施のための現地調査

- ① 市場整備状況と計画及び完成までのスケジュール

市場建設は下記のように急ピッチで進められている。市当局は管理棟・正門・駐車場・構内道路舗装は市の負担で完工するが、卸売場・業者事務所・付属店舗については建物を建設して卸売場の内装を卸売業者の個人負担とする考えである。

各建物の進捗状況並びに完工予定は次のようである。

建設施設		4月3日現在進捗状況	完工予定
卸売場建物	1	70 %	7月末
	2	70	7月末
	3	70	7月末
	4	70	7月末
	5	20	—
	6	30	—
管理棟		80	4月中
付属店舗		—	—
正門・駐車場・構内道路		10	7月末

すなわち、市当局は管理棟は4月中に完成し直ちに管理部門の1部を移転し、その他建物の建設を促進して、7月末までに全て完工させる計画である。

市当局の計画では1カ月程度入場する各業者の行なり内装として、8月15日市制施行記念日に開場したい意向の模様である。（この計画通りに建設が進むかどうか問題である。市当局では1カ月位は遅れることはあり得るので、開場は何月何日になるかまだ決定することはできないとしている。）

② 卸売商の配置計画

市当局は各卸売業者と数回の打合せを行っており、実態把握と業者の希望を考慮して、配置計画（場所と面積）を作成し、大半の卸売業者は決定している。すなわち各ブロックの業者数はつぎのとおりである。

建 物	取 扱 品 目	業 者 数
ブ ロ ッ ク 1	} 野菜・果実	72 業者
ブ ロ ッ ク 4		
ブ ロ ッ ク 2		
	鶏肉・肉	6 業者
	チーズ等	—
	食 堂	1 業者
	卸売業者事務所	—
ブ ロ ッ ク 3	穀 類	54 業者
	芋 類	
	その他希望業者	

註 一印は1981年3月現在不明である。

③ 中央卸売市場建設に当たっての卸売業者の移転計画

アスンシオン市は7月末建物及び道路等を全て完工し、直ちに卸売業者に割り当てた卸売市場の内装を行わせ、入場準備を行い、8月中に開場の計画である。

このため、市当局は既に卸売業者に対し2～3回、小売業者に対し、1～2回の説明を行っている。大手卸売業者は移転入場を了承しており、中小業者は移転入場を止むなく了承している模様である。また、小売業者は市場建設に対して仕入れに不便になることから反対の意見を持っているものの中央卸売市場の建設を止むを得ないと考えている模様である。

5. 日本政府の技術協力の考え方

日本政府はアスンシオン市中央卸売市場が食品流通の基点として確実にその機能を果たすための技術協力を行う。その方法はつぎのとおりである。

- (1) 中央卸売市場運営に関する専門家を3～5年間長期にわたり派遣することを考えている。
- (2) 中央卸売市場がその機能を果たすのに必要な機材を無償で供与する。
- (3) アスンシオン市中央卸売市場に勤務すべき市場管理職員を日本に留学させて養成・訓練を行なう。

職員の養成・訓練はおおよそ次の3種の業種につき養成する考えである。

① 市場運営	2人	3カ月間	2回	計	4人
② 機械処理	2人	3カ月間	2回	計	4人
③ 統計情報	2人	3カ月間	2回	計	2人
計					10人

但し、日本政府で検討のうえ変更することがある。

6. 日本政府の技術協力の進め方

- (1) 今回実施したアスンシオン市当局と打合した事項につき中央卸売市場の建設の進行状態の現地調査を勘案して日本政府と協議し出来るだけ早い機会に技術協力の実施協議のミッションを派遣することとなる。
- (2) 技術協力協議のためのミッションのとりきめにより、長期専門家を派遣することとなる。
- (3) 長期専門家の着任とアスンシオン市中央卸売市場の「市場の営業開始」と関連させながらアスンシオン市当局が要請している順位に従がい提供機材を導入して設備できるように進める考えである。但し、機材についてはその大部分を日本から輸送することとなるので輸送日数等を勘案すると現在では到着予定日を推定することが困難である。

また、機種についても要請されたものを日本政府が検討して決めることとなるので、要請内容が22種188台となっているが、技術的関連を検討した場合、若干変更されることがあるものと考えられる。

1981年4月8日

パラグアイ共和国

アスンシオン市食品市場改計画

技術協力打合チーム

団 長	多 田 誠
市 場	永 井 三 郎
市場経営	藤 田 康 雄
業務調整	瀬 合 義 之

(2) スペイン語文

INFORME DE LA CONSULTA ANTE EL GOBIERNO JAPONES SOBRE EL PLAN DE MEJORAMIENTO DEL MERCADO DE ABASTO DE LA CIUDAD DE ASUNCION REPUBLICA DEL PARAGUAY.

8 DE MARZO DE 1.981.

I. LA SOLOCITUD DE LA MUNICIPALIDAD DE ASUNCION; ANTE LA MISION DE CONTACTO DE MARZO DE 1.981, ES LO SIGUIENTE:

1. Solicitóq ante el Gobierno Japonés la reparación de nueve mercados zonales y la construcción de cuatro a cinco mercados zonales que se encuentra en el Proyecto.
2. Donación de equipos necesarios para la operación de los mayoristas en el Mercado de Abasto, y la Cooperación Técnica de Administración y Establecimiento del Sistema de Circulación del Mercado de Abasto, que se encuentra en plena construcción con el crédito del Banco Mundial y Otros.
3. Solicitud de Crédito ante el Gobierno Japonés para el aumento de edificios en el Mercado de Abasto.

II. PROGRAMA BASICA DE COOPERACION TECNICA DEL GOBIERNO JAPONES, ANTE EL PLAN DE MEJORAMIENTO DEL MERCADO DE ABASTO, EN MARZO DE 1.981.

1. Informe ante la Municipalidad de la Ciudad de Asuncion, por la Segunda Misión de Estudio.
2. Ante el Programa Básico del Gobierno Japonés, la Municipalidad de Asunción, deseó la ejecución de la Cooperación Técnica, la Asistencia de Expertos en Largo Plazo, y prometió la preparación de la contraparte y también la ayuda en todos los sentidos.

EL PLAN BASICO DE COOPERACION TECNICA PARA EL PROYECTO DE MEJORA Y
ORDENAMIENTO DEL MERCADO CENTRAL DE ABASTO DE ASUNCION
(BORRADOR PARA LA DELIBERACION)

I. Antecedentes de la solicitud y objetos del Estudio

1. Antecedentes de la solicitud

La concentración de gran número de mayoristas y detallistas alrededor del mercado No. 4 de Asunción causa la congestión del tráfico y la insalubridad en la misma área, y además impide el desarrollo normal de otros mercados públicos de venta al detalle.

Para solucionar estos problemas, se puso en marcha la construcción del mercado central al por mayor de abasto en el año 1972 bajo la dirección del gobierno paraguayo con los fondos municipales.

Sin embargo, la obra se obligó a interrumpir en 1975 por falta de los fondos y la obra se abrió de nuevo con el financiamiento del Banco Mundial en el mes de julio de 1980.

Por otra parte, el gobierno paraguayo solicitó al gobierno japonés que realizara el estudio de factibilidad sobre el proyecto de mejora y ordenamiento del mercado de alimentos. Responiendo a la solicitud, LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON (JICA) envió una misión preliminar al Paraguay en el mes de marzo de 1980 para la realización del estudio sobre antecedentes de la solicitud, y a continuación de la misma, JICA ha decidido enviar una misión del consejo al Paraguay para el fin de discutir y arreglar el contenido de la cooperación.

2. Objetivos de la cooperación

La Municipalidad de Asunción está construyendo el mercado central como parte integral del proyecto de mejora y ordenamiento del mercado de alimentos. Para eliminar la congestión por mayoristas alrededor del mercado existente No. 4 y dar una mejora al ambiente, los objetos son (1) preparar la apertura del mercado central de abasto y (2) facilitar su administración del mismo.

II. Resumen de la cooperación

1. Ejecución del proyecto

Formando el centro del proyecto en la Municipalidad de Asunción, se ejecutará la cooperación para la apertura del mercado central de abasto y sus administraciones y operaciones en las 2 etapas siguientes:

- (1) 1ª etapa Cooperación sobre la preparación de la apertura del mercado central de abasto.
- (2) 2ª etapa Cooperación sobre su administración

2. Contenido de la cooperación

- (1) Cooperación para la preparación de la apertura
 - a) Elaboración del programa de distribución, a través del estudio del mecanismo de las corrientes de mercancías como suministro de productos y tendencia de consumidores.
 - b) Elaboración del programa de la operación y el sistema del mercado central de abasto.
 - c) Elaboración del programa de la introducción de equipos necesarios para la operación del mercado central de abasto, para el mecanismo de distribución de los productos y para las actividades informativas entre el mercado central y los mercados de venta al detalle.
 - d) Formación de administradores y técnicos del mercado.
 - e) Dar consejos al elaborar los decretos de venta al por mayor en la Municipalidad de Asunción.
- (2) Cooperación para la administración después de la apertura
 - a) Estudio de las condiciones de las corrientes de mercancías y de las tendencias de consumidores en el mercado central de abasto y los mercados locales de venta al detalle.
 - b) Establecimiento del sistema informativo y del sistema de las corrientes de mercancías, e instrucción para la aplicación efectiva de equipos suministrados.

- c) Entrenamiento a administradores y técnicos del mercado.
- d) Repaso del programa de mejora y ordenamiento del mercado central de abasto.

III. Cargo de la parte japonesa

1. Envío de expertos

- (1) Expertos a largo plazo
 - a) Distribución
 - b) Sistema del mercado
 - c) Administración y operación del mercado
- (2) Expertos a corto plazo
- (3) Coordinador

2. Suministro de equipos

Suministro de quipos necesarios para la operación del mercado central de abasto, para el mecanismo de distribución de los productos y para las actividades informativas entre el mercado central y los mercados de venta al detalle.

3. Entrenamiento de administradores, operadores y técnicos del mercado en el Japón.

IV. Cargo de la parte paraguaya

1. Preparación de contrapartes siguientes

- (1) Director del proyecto
- (2) Más de 3 contrapartes por cada experto japonés
- (3) Otros empleados requeridos para la ejecución del proyecto.
(oficionistas, choferes, etc.)

2. Construcción y aparejamiento de los edificios del mercado central de abasto y las instalaciones adicionales (que incluyen los comedores, cuartos de baño, taller, puesto de gasolina)
3. Legislación y aplicación de los decretos relacionados con la translación, la administración y la operación del mercado.
4. Presupuesto para la administración y operación del mercado.

V. Organización de la comisión mixta

El objeto de la comisión mixta es deliberar la elaboración y ejecución del proyecto.

1. Presidente: Alcalde de Asunción
2. Comisionados:

(Parte japonesa)

- (1) Jefe de expertos
- (2) Expertos designados por el jefe
- (3) Representante de JICA

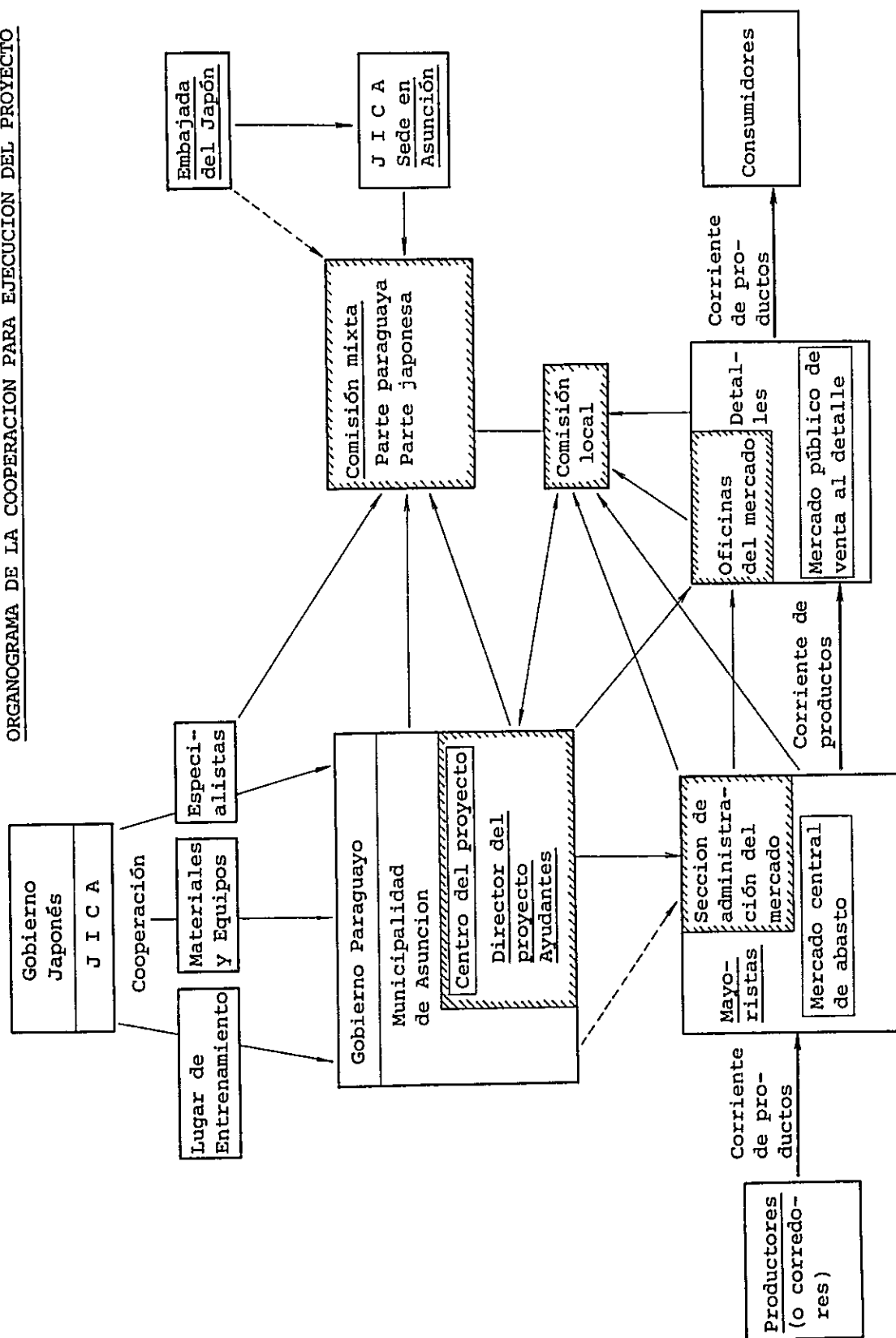
(Parte Paraguaya)

- (1) Director del proyecto
- (2) Delegados de las organizaciones oficiales relacionadas

(Observaciones)

Los miembros de la Embajada del Japón en el Paraguay pueden asistir a la conferencia como observadores.

ORGANOGRAMA DE LA COOPERACION PARA EJECUCION DEL PROYECTO



III. EL GOBIERNO JAPONES ENTREGO A LA MUNICIPALIDAD DE ASUNCION LOS SIGUIENTES DATOS DE REGLAMENTACION EN ESPANOL, COMO EJEMPLO DEL MANTENIMIENTO DEL MERCADO DE ABASTO.

1. Ejemplo de la Ordenanza del Mercado de Abasto de Asunción.
2. Ejemplo del Reglamento de Maneso de Abasto de Asunción.
3. Ejemplo de Reglamento de la Administración del Mercado de Abasto de la ciudad de Asunción.
4. Ejemplo de Reglamento de Venta y Contrato del Mercado de Abasto de Asunción.

IV. PARA LA EJECUCION DE LA COOPERACION TECNICA, SE REALIZO UN ESTUDIO LOCAL, DEL 28 DE MARZO AL 8 DE ABRIL DE 1.981.

1. Programa para el Plan y Mantenimiento del Mercado de Abasto, la construcción del Mercado de Abasto, se ejecuta en forma normal y acelerada.

La construcción de la Oficina para la Administración, el Portón de acceso, estacionamiento, y el pavimento de la ruta de acceso, está a cargo de la Municipalidad.

Se encargará particularmente a los mayoristas, los lugares de venta, oficinas de los mayoristas y lugares anexos.

CRONOGRAMA: Avance de cada construcción.

EDIFICIOS	PORCENTAJE	FECHA DE CULMINACION
EDIF P/MAYORISTAS 1	70%	JULIO
EDIF. P/MAYORISTAS 2	70%	JULIO
EDIF. P/MAYORISTAS 3	70%	JULIO
EDIF. P/MAYORISTAS 4	70%	JULIO
EDIF. P/MAYORISTAS 5	20%	---
EDIF. P/MAYORISTAS 6	30%	---
OFIC. ADMNISTRATIVA	80%	ABRIL
ANEXO	100%	---
PORTON, ESTACIONAMIENTO Y PAVIMENTO	10%	JULIO

La Municipalidad tiene previsto la culminación de las obras en la siguiente forma:

La Oficina de Administración, a fines de abril, y traslado inmediato del Departamento del Proyecto y otras obras, a fines de Julio.

También tiene previsto un mes de periodo, aproximadamente, para la preparación del asentamiento de los mayoristas.

La fecha de Apertura sería el 15 de Agosto, Día de la Fundación de Asunción.

Puede haber un atraso aproximado de un mes, por lo tanto, la fecha de apertura no es decisivo.

2. PLAN DE DISTRIBUCION DE LOS MAYORISTAS

La Municipalidad ha mantenido varias reuniones, con los mayoristas, para el Plan de Distribución, y ya tiene preparado la distribución (lugar y superficie) de acuerdo al deseo y situación razonable.

La gran parte de los mayoristas ya están desididos.

LOS MAYORISTAS DE CADA BLOQUE SON LOS SIGUIENTES:

EDIFICIO	RUBROS	CANTIDAD DE MAYORISTAS
BLOQUE 1,4	FRUTOS	72 MAYORISTAS
BLOQUE 1,4	HORTALIZAS	72 MAYORISTAS
BLOQUE 2	HUEVO, CARNE	6 MAYORISTAS
	DERIVADO LACTEO	---
	RESTAURANTE	1 MAYORISTA
	OFICINA DE MAYORISTA	---
BLOQUE 3	MANDIOCA	54 MAYORISTAS
	PAPA	
	OTROS	---

(---) Indica cifra incierta.

3. PLAN DE TRASLADO DE LOS MAYORISTAS EN EL MERCADO DE ABASTO

La Municipalidad de Asunción tiene previsto, la culminación de los edificios, a fines de Julio, luego se procederá a la instalación de los equipos necesarios para los mayoristas, y la apertura en el mes de Agosto.

Para este fin la Municipalidad ha aclarado la explicación a los mayoristas y minoristas, en dos ocasiones.

Los mayoristas de gran cantidad están de acuerdo, pero los mayoristas medianos tienen algunas dudas.

Las minoristas al parecer se oponen, por los problemas de transportes que surgen por la distancia que hay hasta el mercado de abasto.

V. IDEOLOGIA DEL GOBIERNO JAPONES A LA COOPERACION TECNICA

El Gobierno Japonés proseguirá la Cooperación Técnica para que haya un buen sistema de circulación de Mercado de Abasto en la ciudad De Asunción.

La forma en que se realiza es la siguiente:

1. Envío de expertos en largo plazo de tres a cinco años para la operación del Mercado de Abasto.
2. Donación de equipos necesarios para que haya operación perfecta del Mercado de Abasto.
3. Educación y formación de técnicos de Administración de Mercado de Abasto, en Japón, en forma de cursillo.

FORMA DE EDUCACION Y FORMACION DE LOS TECNICOS

1. Administración de Mercado: dos personas, 3 meses, 2 ocasiones, Total 4.
2. Manejo de Equipos: dos personas, 3 meses, 2 ocasiones, Total 4.
3. Informe Estadístico: dos personas, 6 meses, 1 ocasión, Total 2.

La plaza total suman para diez personas, sin embargo, puede haber variaciones, por la aprobación del Gobierno Japonés.

VI. FORMA DE COOPERACION TECNICA DEL GOBIERNO JAPONES

1. Acuerdo a las reuniones realizadas con la Municipalidad de Asunción y al Estudio Local que se ha realizado. Se harán reuniones con el Gobierno Japonés, para la venida inmediata de la siguiente Misión. de Estudio.
2. Para la Cooperación Técnica vendrán Expertos de Largo Plazo.
3. La Idea es la incorporación de equipos, que donará, sea ordenado de acuerdo a la necesidad y que tenga relación con el envío de expertos y la apertura del Mercado de Abasto.

Será dificultosa fijar la fecha exacta de la llegada de los equipos, porque la mayor parte se traerían del Japón.

Podrá haber alguna diferencia sobre el equipo solicitado (188 máquinas de 22 clases.) porque tendrá que gravar el gobierno Japonés.

8 DE ABRIL DE 1.981.

MISION DEL ESTUDIO SOBRE EL PLAN DE
COOPERACION TECNICA DEL MERCADO DE LA
CIUDAD DE ASUNCION, REPUBLICA DEL
PARAGUAY.

Makoto, Tada

MISION DE ESTUDIO DEL GOBIERNO JAPONES.

JEFE DE MISION:	MAKOTO TADA.
MANEJO DE MERCADO:	SABURO NAGAI.
MANEJO DE MERCADO:	YASUO FUJITA.
COORDINADOR:	YOSHIYUKI SEGO.

2. アスンシオン市中央卸売市場条例案

(1) 日 本 語 文

目 次

第 1 章 総 則

第 2 章 中央卸売市場の開設

第 3 章 中央卸売市場内で行なう卸売業務の許可，規制及び監督

第 4 章 中央卸売市場審議会

第 5 章 雑 則

第 1 章 総 則

(職 旨)

第 1 条 この条例は中央卸売市場に関し必要事項を定めるものとする。

第 2 章 中央卸売市場の開設

(開 設)

第 2 条 市長は市民等の生活の安定を図り，生鮮食料品等の取引の適正化とその健全な運営を確保するため次により，アスンシオン市中央卸売市場を開設する。

- a 中央卸売市場の位置
- b 中央卸売市場の面積
- c 取扱品目
- d 市場開設の期日
- e 開場の時間
- f 卸売業務を行なう者の見込数
- g 卸売業務を行なう者以外の関係事業者の見込数
- h 施設の使用料
- i 中央卸売市場内の秩序の保持に関する事項

第 3 章 中央卸売市場内で行なう卸売業務の許可，規則及び監督

(卸売業務の許可)

第 3 条 中央卸売市場において卸売業務を行なうための許可を受けようとする者は次に掲げ

る事項を記載した申請書に規則で定める書類を添付して市長に提出しなければならない。

- a 氏名又は名称（但し法人の場合は代表者名）
- b 住 所（但し法人の場合は事務所所在地）
- c 取扱品目
- d 使用申込、売場面積
- e 主たる仕入先
- f 買取引の方法

2. 卸売業務の許可の有効期間は、許可の日から許可の日の属する年の翌年1月1日から起算して5年目の12月31日までとする。

（卸売業者廃止の許可）

第4条 中央卸売市場において卸売業務を行なうことの許可を受けた者がその業務を廃止しようとするときは次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

- a 氏名及び名称
- b 住 所
- c 取扱品目
- d 廃止しようとする理由
- e 添付書類（最近1カ年の営業実績）

（中央卸売市場以外の場所での卸売業務の規制）

第5条 中央卸売市場で取扱い品目として、第2条第2項3号に定める品目については中央卸売市場以外の場所において卸売業務を行なってはならない。

第6条 市長の許可を受けて中央卸売市場で卸売業務を行なう者は仲卸人及び買受人以外の者に対して卸売をしてはならない。但し、中央卸売市場の入荷量が多く残留を生ずるおそれがある場合、その他特別の事情がある場合、市長が定める業務規程の定める事項に該当するときはこの限りでない。

（仲卸人及び買受人の承認と規制）

第7条 中央卸売市場で卸売業務を行なう卸売業者から中央卸売市場の取扱い品目の買受けをしようとする者は「承認願」を提出して仲卸人又は買受人として市長の承認を受けなければならない。

2. 仲卸人又は買受人として市長の承認を受けた者がその事業を廃止するときは「承認の取消し願」を市長に提出しなければならない。

第 8 条 仲卸人及び買受人は中央卸売市場の卸売業者から買受けた取扱品目につき中央卸売市場内で卸売業務を行なう卸売業者に販売してはならない。

（立売営業）

第 9 条 市長は生産者又は生産者団体等の代表者が市場内に食料品等を搬入して小規模に買受人等に直売する営業を承認することができる。

2. 前項により市長が承認した者を「立売営業者」と呼ぶ。

（付属営業人）

第 10 条 市長は市場内で飲食店その他市場運営に必要な付属営業を行なう者を許可することができるものとする。

2. 前項で市長が許可した営業人を「付属営業人」と呼ぶものとする。

（委託契約と受託手数料）

第 11 条 卸売業者が生産者又は生産者の団体等から取扱品目の販売委託を引受けるときは予め「販売委託契約約款」を定めて市長に届出しておかねばならない。

第 12 条 卸売業者が生産者又は生産者の団体等から販売の委託を受けたときは市長に届出た委託契約約款により取扱しなければならない。この場合の取扱い手数料は市長が業務規程で定める料率を越えてはならない。

（報告と公表及び勧告）

第 13 条 中央卸売市場の卸売業者は主要品目の入荷数量と標準価格を毎日市長に報告しなければならない。

第 14 条 市長は中央卸売市場の卸売業者からの報告にもとづきこれを市場内に公表するほか、公設小売市場に通報するものとする。

第 15 条 卸売業者は事業年度ごとに規則で定めるところにより事業報告書を作成して市長に報告しなければならない。

第 16 条 市長は中央卸売市場の業務の適正かつ健全な運営を確保するため必要があると認めるときは卸売業者の店舗の施設、業務方法につき改善措置をとるべき旨を勧告することができる。

第 4 章 中央卸売市場審議会

（設 置）

第 17 条 市長は付属機関として中央卸売市場審議会（以下「審議会」という）を置く。

(組 織)

第18条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2. 委員は食料品の流通に関し知識経験のある者のうちから市長が任命する。
3. 委員の任期は4年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
4. 委員は再任されることができる。

(会長及び副会長)

第19条 審議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長及び副会長は委員が互選する。
3. 会長は審議会を代表し、会務を総理する。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

第20条 前3条に定めるもののほか、審議会の組織運営について必要があるときは審議会の内規で定める。

第5章 雑 則

(告示事項)

第21条 市長は次の各号に掲げる場合には、その旨を告示しなければならない。

1. 卸売業務の営業を許可した者の氏名(名称)、住所、法人の場合の代表者氏名
2. 卸売業務の営業廃止を許可した者の氏名(名称)、住所、法人の場合の代表者氏名

(登録手数料)

第22条 卸売業務の許可を受けようとする者(許可の更新を受けようとする者を含む)は登録手数料を納めなければならない。

2. 登録手数料の額は規則で定める。

(規則への委任)

第23条 この条例の施行に関し必要な事項は規則で定める。

(附 則)

第24条 この条例は、1982年 月 日から施行する。

(2) スペイン語文

PUNTOS ESENCIALES DE LA PLAN DE LA ORDENANZA DEL MERCADO CENTRAL AL
FOR MAYOR DE LA CIUDAD DE ASUNCION .

Indice

- Capítulo 1. Reglas generales.
- Capítulo 2. Apertura del mercado central al por mayor.
- Capítulo 3. Autorización, reglamentación y supervisión del negocio
al por mayor que se efectúa en el mercado central al
por mayor.
- Capítulo 4. Consejo deliberante del mercado central al por mayor.
- Capítulo 5. Reglas variadas.

Capítulo 1. Reglas generales

(Propósito)

- Artículo 1. Esta ordenanza determina los artículos necesarios con
referencia al mercado central al por mayor.

Capítulo 2. Apertura del mercado central al por mayor

(Apertura)

- Artículo 2. El alcalde abre el mercado central al por mayor de la
ciudad de Asunción como lo siguiente para promover la
estabilidad de la vida civil, controlar el negocio de
las mercancías como los víveres frescos y conseguir la
administración sana.
- a. Situación del mercado central al por mayor.
 - b. Superficie del mercado central al por mayor.
 - c. Artículos de trato.
 - d. Fecha de la abierta.
 - e. Hora de la abierta.

- f. Número estimado de las personas que efectúan negocios al por mayor.
- g. Número estimado de las personas que efectúan negocios aparte de los al por mayor.
- h. Precio de renta de los establecimientos.
- i. Los artículos concernientes al mantenimiento del orden en el mercado central al por mayor.

Capítulo 3. La autorización, reglamentación y supervisión de los negocios al por mayor que se efectúan en el mercado central al por mayor

(La autorización de los negocios al por mayor)

- Artículo 3. Los que quieren recibir la autorización para efectuar negocios al por mayor en el mercado central al por mayor deben presentar la solicitud de los siguientes artículos y los documentos determinados por el reglamento adjuntos al alcalde.
- a. Nombre de persona o organización (En caso de una corporación, nombre del representante)
 - b. Dirección (En caso de una corporación, dirección de la oficina)
 - c. Artículos de trato
 - d. Superficie del cuarto de ventas que solicita el uso.
 - e. Surtidores principales
 - f. Modo de liquidación del trato de compra-venta
2. El tiempo válido de la autorización del negocio al por mayor es desde el primer día del año próximo del día autorizado hasta el 31 de Diciembre de 5 años después.

(La autorización de la abolición del negocio al por mayor)

- Artículo 4. Cuando los que están autorizados de efectuar el negocio al por mayor en el mercado central al por mayor quieren abolir su negocio, deben presentar la solicitud de los siguientes artículos al alcalde.

- a. nombre de persona o organización
- b. dirección
- c. artículos de trato
- d. razón de la abolición
- e. documentos adjuntos (resultados del negocio de último año)

(Reglamentación del negocio al por mayor en otro lugar del mercado central al por mayor)

Artículo 5. Como los artículos de trato en el mercado central al por mayor, los fijados en el número 3 de la cláusula 2 del artículo 2 no se los puede negociar al por mayor en otros lugares del mercado central al por mayor.

Artículo 6. Los que efectúan negocios al por mayor en el mercado central al por mayor bajo la autorización del alcalde no deben negociar excepto con los corredores y los compradores salvo casos de que hay gran cantidad de mercancías llegadas al mercado central al por mayor, hay posibilidad de dejarse mercancías no vendidas, hay razones especiales, y cae bajo los artículos del reglamento del negocio que está decidido por el alcalde.

(Aprobación y reglamentación del corredor y el comprador)

Artículo 7. Los que quieren comprar los artículos de trato del mercado central al por mayor desde los negociantes al por mayor que efectúan negocios al por mayor en el mercado central al por mayor, deben recibir la aprobación del alcalde como corredor o comprador, presentándole la solicitud de aprobación.

- 2. Cuando los que están aprobados por el alcalde como corredor y comprador quieren abolir su negocio, deben presentar la solicitud de abolición al alcalde.

Artículo 8. Los corredores y los compradores no pueden vender los artículos de trato que se compran desde los negociantes al por mayor del mercado central al por mayor a los negociantes al por mayor que efectúan negocios al por mayor en el mercado central al por mayor.

(Negocio en la calle)

Artículo 9. El alcalde puede aprobar a los productores o a los representantes de organizaciones de productores que venden directamente a los compradores las mercancías como los víveres transportados en pequeña escala en el mercado.

2. Según la cláusula anterior, a los que aprueba el alcalde llama negociante en la calle.

Artículo 10. El alcalde puede aprobar a los que efectúan subnegocios necesarios como restaurantes y otros negocios para la administración del mercado.

(Contrato de consignación y comisión de consignatario)

Artículo 11. Cuando el negociante al por mayor se encarga de la consignación de la venta de los artículos de trato desde los productores o organizaciones de productores, deben presentar un contrato escrito de la venta consignada al alcalde.

Artículo 12. Cuando el negociante al por mayor se encarga de la consignación de la venta desde los productores y organizaciones de productores, debe negociar bajo ese contrato de la venta consignada.

En este caso la comisión de trato no puede pasar la que está decidida por el reglamento del negocio del alcalde.

(Información Publicación, Exhortación)

Artículo 13. El negociante al por mayor del mercado central al por mayor debe informar al alcalde la cantidad de principales mercancías llegadas y precios por término medio todos los días.

Artículo 14. El alcalde lo publica en el mercado y informa al mercado público al por menor, a través del informe de los negociantes al por mayor del mercado central al por mayor.

Artículo 15. El negociante al por mayor debe informar al alcalde, redactando un informe de su negocio bajo el reglamento

en cada año de negocio.

Artículo 16. El alcalde puede aconsejar, cuando reconoce necesario, que mejore las instalaciones de la localidad de los negociantes al por mayor y el método del negocio, para conseguir la administración apropiada y sana del mercado central al por mayor.

Capítulo 4. Consejo deliberante del mercado central al por mayor

(Organización)

Artículo 17. El alcalde organiza el consejo deliberante del mercado central al por mayor (lo llamamos "consejo deliberante" en lo siguiente) como organización perteneciente.

(Formación)

Artículo 18. El consejo deliberante se forma de menos de 20 miembros.

2. El alcalde designa a los que tienen conocimientos y experiencia sobre la circulación de los víveres.
3. El mandato de comisario es de 4 años, sin embargo en caso de que falta comisario, el mandato del comisario suplente se limita al resto del de predecesor.
4. Se puede designar al mismo comisario de nuevo.

(Presidente y Subpresidente)

Artículo 19. El consejo tiene el presidente y subpresidente.

2. Los comisarios se eligen el presidente y subpresidente entre si.
3. El presidente representa el consejo deliberante y dirige el trabajo del consejo.
4. El subpresidente ayuda al presidente, y cuando ocurre algo en el presidente, substituye al presidente en el trabajo.

Artículo 20. Además de los tres artículos anteriores, cuando es necesario decidir más sobre la administración del consejo deliberante, se puede decidir en el reglamento interno del consejo deliberante.

Capítulo 5. Reglas variadas

(Declaración)

Artículo 21. En caso de lo siguiente, el alcalde debe declararlo.

1. Nombre (o sea título), dirección, y Nombre del representante que está autorizado el negocio al por mayor.
2. Nombre (o sea título), dirección, y nombre del representante que está autorizada la abolición del negocio al por mayor.

(Comisión de matriculación)

Artículo 22. Los que quieren conseguir la autorización del negocio al por mayor (incluido los que quieren renovar la autorización) debe pagar la comisión de la matriculación.

2. La cantidad de la comisión de la matriculación se decide en el reglamento.

(Delegación a los reglamentos)

Artículo 23. Para poner esta ordenanza en vigor, los artículos necesarios se deciden en reglamentos.

(Reglas suplementarias)

Artículo 24. Esta ordenanza se pone en vigor desde el día del mes del año 1982